

平成 23 年度
奨学金等分科会報告書

平成 24 (2012) 年 3 月

社団法人日本私立大学連盟
学 生 委 員 会
奨 学 金 等 分 科 会

刊行にあたって

本連盟は、加盟大学を対象として種々の調査研究を行っているが、奨学金等についても、長年にわたり継続的に調査を実施している。

本書は、学生委員会に設置した奨学金等分科会が実施した「平成23年度奨学金等調査（平成22年度実績）」について、その概要と調査結果をとりまとめたものである。

言うまでもなく、私立大学は、それぞれの建学の精神に則って運営されており、学生の教育に関しても個々の理念と目的を掲げ、それらを具現するための活動を行っている。こうした教育の理念と目的に鑑み、各大学では、独自の特徴的な奨学金等制度を構築して、一人でも多くの学生の修学機会が確保できるよう懸命な努力を続けている。

7,117人の学生から回答を得た学生生活実態調査の結果に基づき、本連盟の学生委員会が平成23年9月にとりまとめた『私立大学学生生活白書2011』では、家計における負担感の増大が見られる一方で、「返還の必要のない奨学金の充実」を求める声が高く、学費の減免や奨学金制度の整備、改善等、厳しい経済状況の中でも大学での学習を継続できる支援政策の充実と新たな展開が求められていることが明らかとなっている。

しかしながら、昨今の経済状況や少子化等、私立大学を取り巻く環境は厳しく、個々の私立大学においては、奨学金をはじめとする経済支援の資金の捻出等に課題を抱えている。また、本年度調査のテーマ設問で取り上げた、外国人留学生への授業料減免制度の負担も大きな影を落としている。

「就職や将来の進路」や「経済問題」に不安・悩みを抱え、「内向き志向」が高いといわれる学生が、学生生活を通じて自らの視野を広げ、未来への可能性を信じることのできるような修学環境の確保に向け、大学関係者はもちろん、政府及び企業関係者をはじめとする社会をあげて、その仕組みづくりのための具体的な問題提起と行動を起こしていくことが求められているといえよう。

本報告書は、そのような状況下における加盟大学の奨学金等制度の全体像を示し、各大学での制度運用の一助となることを目的として刊行した。

各大学における学生に対する経済支援、創意工夫に溢れる戦略的支援の構築、運用に資すれば幸いである。

平成24年3月

学生委員会

担当理事 吉岡知哉

委員長 國廣敏文

平成 2 3 年度奨学金等分科会報告書

目 次

刊行にあたって

．学生委員会奨学金等分科会の活動について	1
1．平成 2 3 年度奨学金等調査を実施して	
2．日本学生支援機構との取組み内容	
．平成 2 3 年度奨学金等調査結果の概要	3
1．実施概要	
2．調査結果について	
3．記載データ	
4．データ設問	
(1) 全体集計	6
(2) グループ別集計	8
(3) 学生一人当たり支給額のグループ比較レーダーチャート	14
(4) 学内奨学金等支給実績推移表	15
(5) 支給人数と一人当たり平均支給額の推移	16
5．テーマ設問	
平成 2 2 年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度の現状	20
【付録】	
調査実施要項	26
調査項目一覧	32
調査票	34
学生委員会委員名簿・奨学金等分科会委員名簿	
社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧	

調査結果の電子データ化について

上記「4．データ設問」に関連して、本連盟ホームページの加盟大学専用ページ内「データライブラリー」に、以下のデータを公表しています。

- 1) 大学別「集計総括表(本報告書6頁の個別大学版)・回答調査票」【PDF形式】
- 2) 加盟大学で平成22年度に新設された学内奨学金等制度一覧【PDF形式】
- 3) 本報告書15頁の「学内奨学金等支給実績推移表(全体123大学)」および同推移表(グループ1～3別)【Excel形式】

「データライブラリー」を利用するにはあらかじめ利用登録が必要です。

． 学生委員会奨学金等分科会の活動について

奨学金等分科会は、学生委員会の下部組織として設置され、奨学金等の調査の実施とその分析並びに独立行政法人日本学生支援機構（以下、「学生支援機構」という。）等の外部機関との協議をその主要な任務としている。平成23年度の当分科会は、加盟大学の学生支援に資するために「平成23年度奨学金等調査」を実施するとともに、国の奨学金施策の多くの部分を担う日本学生支援機構と定期的な協議を行った。

1 ． 平成23年度奨学金等調査を実施して

平成23年度奨学金等調査は、連盟の全加盟大学に対して、学内奨学金等制度の状況及び「学生支援機構」の奨学金の受給状況を詳細に調査したものである。調査項目の詳細は【付録】の実施要項を参照されたい。

本分科会が奨学金等の調査を担当するようになって今年度で6年目となる。多くの詳細な調査項目にもかかわらずこれを終えることができたのは、関係者各位のご協力の賜物であり、調査担当者として厚く御礼申し上げる次第である。

調査については、まず、昨年度と同様に、学部・大学院ともに、授業料等の減免制度も含む奨学金等を形態別および目的別に分類し、全体の調査結果と各グループ（学生数1万人以上、4千人以上1万人未満、4千人未満の3グループ）の調査結果を前年度と対比して明示した。

これまでの調査項目の継続性に配慮しながら、今年度より若干の変更を行っている。形態別および目的別分類について、従来、奨学型奨学金に分類されていた「一時貸付金」については奨学金になじまないとして削除した。また、各大学がどのグループに属しているのかを明記した。

今年度の調査結果における特徴的な点をいくつか挙げておこう。学部・大学院ともに学内奨学金等制度が貸与型から給費型にシフトしていることがこれまでも指摘されてきたが、学部学内奨学金等制度について、特にグループ1ではその傾向が顕著であり、グループ3では給費型、貸与型の双方で運用されていることを見取することができる。

また、全体集計における学部学内給費奨学金等支給実績では、これまでと同様に経済支援（A）と学業成績優秀（C）の割合が非常に大きい。学生一人あたりの金額（給費と減免の合計）からみれば、昨年より若干ダウンしたとはいえ入試成績優秀者（D）に対する支給額が最も多く、経済支援（A）の倍以上の金額が支給されている。特にグループ1及び3では、学生一人あたりの金額（給費と減免の合計）からみれば、入試成績優秀者（D）とスポーツ・文化・ボランティア活動優秀（F）に対する奨学金が手厚いことがわかる。派遣留学生の人数については、全体集計で、昨年と比して約1,100人減少したが、給費額（減免を含む）が増加したことによって、学生一人あたりの金額（給費と減免の合計）は増加している。

一方、大学院学内給費奨学金等支給実績では、学生一人あたりの金額（給費と減免の合計）から見れば、入試成績優秀（D）が最も多く、そのあとに経済支援（A）、学業成績優秀（C）と続いている。

また、今年度については「平成22年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度の現状」とするテーマ設問も実施した。これは、受け入れた留学生向けに授業料等減免を実施している大学に、従来行われてきた授業料減免学校法人援助（政府開発援助外国人留学生就学援助費補助金制度）が平成22年度から廃止されたことを受け、各大学のその後の動きを調

査したものである。この制度を導入していたほとんどの大学で、補助金廃止後も授業料等の減免制度を存続させていることが明らかとなっている。詳細については、テーマ設問の項をご覧ください。

なお、この調査結果は冊子による公表だけではなく、一昨年度より連盟のホームページにおいても公表しているので、ご利用頂きたい。

本調査が、加盟大学の奨学金政策に些かなりとも貢献することがあれば、調査を実施したのものとして望外の喜びである。今後の取り組みに対するご助言やご支援を賜れば幸いである。

2．日本学生支援機構との取組み内容

本分科会は日本学生支援機構（以下、「学生支援機構」という。）と毎年2回の定期的な懇談会を開催しており、今年度も7月22日と12月22日に実施した。

特に、今年度は昨年3月11日に発生した東日本大震災で被災した学生等に対する奨学金の充実、奨学金返還制度の改善について重点的に懇談をした。

懇談の場で、被災学生に対する奨学金については、第一種（無利子）奨学金の募集時期がこれまで7月末までの1回であったものが、第二種と同様に第2回、第3回と受付時期の延長が認められたこと、また、2012年の第一種奨学金の貸与人員は15,000人の増加で、このうち6,500人が被災者枠として設定されているとの説明を受けた。

周知のように、学生支援機構においては多額の延滞債権の回収処理が大きな問題となっている。当分科会としても、奨学生に対して返済義務に関する教育を一層丁寧に行うことや返済を容易にするための方法の提案を積極的に行うことなど、可能な限りで学生支援機構と協力体制をとることが、奨学金制度の充実を図る最善の方法であると考えます。

懇談の中で、学生支援機構より「所得連動返済型の無利子奨学金制度」新設の説明を受けた。この制度は将来の返還の不安を軽減することを目的とした制度で、低所得者世帯（年収300万円以下）の学生等に対して、奨学金の貸与を受けた本人が、卒業後に一定の収入（年収300万円）を得るまでの間は返還期限を猶予する制度である。現行の猶予期間は返済開始から最長5年であることから、該当者にとっては実質的な猶予期間の延長となる。奨学金返済困難者の負担軽減のための返済期間の延長と一回あたりの返済金額を減額する「減額返還制度」も昨年度より導入されているが、いずれの制度も返還が必要な制度である。当分科会としては、更に一歩進んで、制度の抜本的改革となる給費型奨学金の導入も引き続き要望していきたいと考えている。

また、奨学金関係の業務についても、その手続き、書類等の簡素化や提出時期の変更について具体的な要望をまとめて提出してきたが、その要望の一部は実現している。今後とも大学間で共通した事項である場合には、この懇談の場で要望していきたいと考えている。ご要望等をお寄せ頂ければ幸いである。

国の奨学金事業の大きな部分を担う学生支援機構を抜きにしては奨学金政策を語ることができない。当分科会としては、今後とも学生支援機構とは緊密な連携を持ち、一層充実した奨学金制度の構築に向けて、有効な関係を維持したいと考えているところである。

．平成23年度奨学金等調査結果の概要

1．実施概要

平成23年度調査は、平成22年度調査の基本方針（加盟大学の作業負担、経年変化による分析の必要性等）を踏襲し、そのうえで、データ設問（毎年実施）とテーマ設問（年度ごとに必要に応じて実施）の調査内容・項目について検討した。

本年度は、平成18年度の調査リニューアルから5年が経過し、6回目の実施となることから、データ設問の対象となる学内奨学金等の定義について、給費奨学金と貸与奨学金、および授業料等の減免を含めることを明確にしたうえで、制度分類表の変更と制度区分（「給費」「貸与」「減免」）及び制度継続状況（「継続」「新設」）の新設等、一部を変更した。

テーマ設問は、「授業料減免学校法人援助」の補助金廃止に伴う、平成22年度以降の外国人留学生に対する授業料等減免制度の現状についてウェブアンケートを行った。

平成23年度奨学金等調査 実施概要

- ．名称：平成23年度奨学金等調査
- ．目的：加盟大学における奨学金等制度の実態、日本学生支援機構の奨学金受給状況を把握し、加盟各大学の学生経済援助施策の企画・立案に資するとともに、当連盟の各種事業活動に役立てる。
- ．調査対象：全加盟大学（123大学）
- ．実施期間：平成23年8月22日（月）～9月30日（金）
- ．回答方法：「インターネット調査」形式
- ．調査項目・内容
 - 1．データ設問：平成22年度実績
 - （1）学内奨学金等制度（学部学生）
 - （2）学内奨学金等制度（大学院学生）
 - （3）学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）
 - （4）日本学生支援機構奨学金に関する調査
 - 2．テーマ設問：平成22年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度の現状

2．調査結果について

調査結果は、全加盟大学（123大学）の「全体集計」と、加盟大学を学部学生数別に三つのグループに分類した「グループ別集計」とに分けて掲載している。

全体集計（123大学）
グループ1（学部学生数1万人以上：28大学）
グループ2（学部学生数4千人以上1万人未満：37大学）
グループ3（学部学生数4千人未満：58大学）

学部学生数は連盟「平成22年度学生・教職員数等調査」を参照した。

グループ1（学部学生数1万人以上：28大学）

（大学名ABC順）

no	大学名										
1	青山学院大学	6	法政大学	11	慶應義塾大学	16	明治学院大学	21	龍谷大学	26	東京農業大学
2	中京大学	7	上智大学	12	國學院大學	17	日本大学	22	専修大学	27	東洋大学
3	中央大学	8	関西大学	13	駒澤大学	18	立教大学	23	拓殖大学	28	早稲田大学
4	同志社大学	9	関西学院大学	14	京都産業大学	19	立正大学	24	東北学院大学		
5	福岡大学	10	関東学院大学	15	明治大学	20	立命館大学	25	東海大学		

グループ2（学部学生数4千人以上1万人未満：37大学）

（大学名ABC順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	愛知大学	8	白鷺大学	15	京都精華大学	22	南山大学	29	成城大学	36	東京女子大学
2	亜細亜大学	9	広島修道大学	16	松山大学	23	日本女子大学	30	成蹊大学	37	東京経済大学
3	跡見学園女子大学	10	城西大学	17	桃山学院大学	24	大阪学院大学	31	西南学院大学		
4	文教大学	11	城西国際大学	18	武蔵大学	25	追手門学院大学	32	芝浦工業大学		
5	獨協大学	12	甲南大学	19	武蔵野大学	26	立命館アジア太平洋大学	33	創価大学		
6	同志社女子大学	13	久留米大学	20	武蔵野美術大学	27	流通科学大学	34	大正大学		
7	学習院大学	14	共立女子大学	21	名古屋学院大学	28	流通経済大学	35	東邦大学		

グループ3（学部学生数4千人未満：58大学）

（大学名ABC順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	梅花女子大学	11	石巻専修大学	21	皇學館大学	31	大阪女学院大学	41	白百合女子大学	51	苫小牧駒澤大学
2	獨協医科大学	12	実践女子大学	22	国際大学	32	大谷大学	42	園田学園女子大学	52	東洋英和女学院大学
3	フェリス学院大学	13	順天堂大学	23	国際武道大学	33	聖母大学	43	天理大学	53	東洋学園大学
4	福岡女学院大学	14	関西医科大学	24	国際基督教大学	34	西武文理大学	44	東北公益文科大学	54	豊田工業大学
5	福岡女学院看護大学	15	関東学園大学	25	京都橘大学	35	聖学院大学	45	常盤大学	55	津田塾大学
6	学習院女子大学	16	活水女子大学	26	松山東雲女子大学	36	聖カタリナ大学	46	東京医科大学	56	山梨英和大学
7	姫路獨協大学	17	恵泉女子学園大学	27	三重中京大学	37	清泉女子大学	47	東京医療保健大学	57	四日市大学
8	広島女学院大学	18	敬姫学園大学	28	宮城学院女子大学	38	聖心女子大学	48	東京情報大学	58	四日市看護医療大学
9	兵庫医科大学	19	神戸女学院大学	29	ノートルダム清心女子大学	39	聖トマス大学	49	東京女子医科大学		
10	兵庫医療大学	20	神戸海星女子学院大学	30	大阪医科大学	40	仙台白百合女子大学	50	東京歯科大学		

3. 記載データ

(1) 集計表（全体集計）・・・6～7頁

- 「 ．学内奨学金支給実績総括表」
平成22年度学内奨学金等の分類別（A～I）支給実績（学部・大学院学生別）
- 「 ．日本学生支援機構奨学金総括表」
平成22年度新規採用実績
平成22年度「第二種奨学金（短期留学）」新規採用実績
奨学生総件数（平成22年3月1日）
- 「学生一人当たり支給金額（全体集計）」
平成22年度学内奨学金等の分類別（学部・大学院学生別）に、学生一人当たりの給費額・減免額・貸与額をグラフで表した。

(2) 集計表（グループ別集計）・・・8～13頁

(3) 学生一人当たり支給額のグループ比較レーダーチャート・・・14頁

学生一人当たりの給費額・減免額・貸与額を、平成22年度学内奨学金等の分類別（学部・大学院学生別）にレーダーチャートで表し、給費・減免・貸与ごとに、グループ

間の比較ができるようまとめた。

(4) 学内奨学金等支給実績推移表・・・15頁

全体集計のみ、平成17年度から平成22年度までの学内奨学金等の支給実績推移表を作成した。

グループ別は、連盟ホームページの加盟大学専用ページ内「データライブラリー」に掲載している。

(5) 支給人数と一人当たり平均支給額の推移・・・16頁～19頁

全体集計のみ、平成17年度から平成22年度までの学内奨学金等の支給人数の推移及び学生一人当たり平均支給額の推移をグラフで表した。

【参考】学内奨学金等制度分類表

<学部学生・大学院学生>

区分	分類	定義	補足	
奨学型	A	経済支援のための奨学金等(もっぱら学費に充てることを前提にしたものであるが、教育ローンにかかる利子を補助するものや入学)	経済的理由により修学困難な学生を対象とする奨学金	奨学生の選考にあたり、経済的要因を学業成績に優先して選考する奨学金
	B	家計急変や災害援助等のための奨学金等	家計支持者の失職・死亡等による家計急変や、火災・風水害・地震などの自然災害により修学困難になった学生を対象とする奨学金	家計急変や災害等を主たる事由として奨学生を選考する奨学金
育英型	C	学業成績優秀者を対象とした奨学金等	学業成績が特に優れた学生を対象とする奨学金	奨学生の選考にあたり、学業成績を経済的要因に優先して選考する奨学金
	D	入試成績の優秀者を対象とした奨学金等	各種入学試験の合格者の中で、特に優れた成績を修めた学生を対象とする奨学金	奨学生の選考にあたり、入学試験成績を他の要件に優先して選考する奨学金
	E	特定の試験・研修の受験・受講者を対象とする奨学金や、学術褒賞・教育研究奨励を目的とする奨学金等	大学が指定・認定する国家試験・研修等への受験者・受講者、当該試験の合格者、または大学内外において研究成果を認められた者に対して、その活動を支援するための奨学金	特定試験の受験を条件とする奨学金、または学業面で特に優れた成果をあげ学内外で表彰を受けたことを選考の要件とする奨学金
	F	スポーツ・文化・ボランティア活動の優秀者を対象とした奨学金等	大学内外において、スポーツ・文化・ボランティア活動等の分野で顕著な成果をあげ、または貢献をした学生を対象とする奨学金	スポーツ、文化、ボランティア活動等において顕著な成果をあげ、または貢献したことを、選考条件とする奨学金
	G	派遣留学生に関する奨学金等	海外の大学に交換留学生等として派遣される学生を対象とする奨学金(当該留学において取得した単位が認定されるものに限る)	留学生として派遣されることを要件とする奨学金
その他	H	その他の奨学金等	上記区分の「奨学型」と「育英型」のどちらにも該当しない奨学金	(1)一つの制度に奨学と育英両方の基準があり、その基準別に対象学生を選し、奨学金を支給する場合は、同一の名称で奨学型の分類と育英型の分類とに分けて回答してください。 (2)1人の学生に支給する奨学金で、奨学型と育英型両方の要因が含まれる場合は、支給事由の強い方の区分からA～Gいずれかの分類を選択してください。

【注】

1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの、当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
3. 奨学金や減免制度といった名称、支給業務の取扱部署、支給根拠規程等にかかわらず、表彰制度等による報奨金並びに商品券や図書券のように給費する金額が明確なものは奨学金として取り扱う(賞状や記念品等のように、明確な金額が確定しないものは除く)。

<受入れ留学生>

分類	定義	補足
I	受入れ留学生に関する奨学金等	受入れ留学生を対象とする奨学金等(入学金免除や奨励金、家賃補助、授業料減免等を含む)

【注】

1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの、当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が確定しないものは除外する。商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱う。

4. データ設問

(1) 全体集計

大学名	123大学
-----	-------

【人数単位:人】
【金額単位:千円】

【学生数】平成22・21年5月1日現在

		平成22年		平成21年	
		学部	大学院	学部	大学院
学生総数		946,012	59,526	934,493	57,251
うち 留 学 生	交換留学生	1,829	222	2,452	247
	国費留学生	50	874	114	1,048
	私費留学生	17,373	6,634	17,477	6,467
計		19,252	7,730	20,043	7,762

I. 学内奨学金支給実績総括表

【学部学生】

学内奨学金制度		給費						貸与						
		平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度			
		人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	
学部 学 生	奨 学 型	A経済支援	15,201 (うち減免803)	4,129,344 (うち減免257,288)	272	13,339	3,297,078	247	6,634	3,872,210	584	6,714	3,725,219	555
		B家計急変・災害援助	817 (うち減免25,155)	318,628 (うち減免25,155)	390	836	320,138	383	119	63,157	531	98	63,097	644
	育 英 型	C学業成績優秀	12,773 (うち減免521)	4,083,279 (うち減免243,793)	320	11,805	3,688,458	312	92	66,500	723	98	69,285	707
		D入試成績優秀者	3,723 (うち減免560)	2,132,881 (うち減免464,151)	573	3,196	1,904,408	596	0	0	0	0	0	0
		E特定奨励・特定研修・学術奨励・教育奨励	2,393 (うち減免0)	250,939 (うち減免0)	105	2,007	191,732	96	111	110,215	993	98	92,621	945
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	2,850 (うち減免590)	1,444,498 (うち減免375,154)	507	2,696	1,382,291	513	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	4,629 (うち減免383)	1,164,896 (うち減免269,218)	252	3,742	793,739	212	61	31,300	513	54	26,650	494
		Hその他	5,147 (うち減免1,472)	1,425,416 (うち減免395,879)	277	6,517	2,047,467	314	480	225,470	470	486	208,394	429
	I受入留学生		16,725 (うち減免8,905)	4,476,432 (うち減免1,162,113)	268	17,302	6,005,614	347						

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与						
		平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度			
		人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	
大 学 院 学 生	奨 学 型	A経済支援	2,485 (うち減免281)	1,025,367 (うち減免125,412)	413	2,203	937,528	426	1,214	927,754	764	1,079	849,500	787
		B家計急変・災害援助	11 (うち減免0)	3,367 (うち減免0)	306	9	2,456	273	4	2,390	598	5	3,285	657
	育 英 型	C学業成績優秀	5,556 (うち減免229)	2,251,962 (うち減免132,995)	405	5,917	2,178,718	368	32	12,860	402	31	12,480	403
		D入試成績優秀者	2,236 (うち減免138)	1,268,318 (うち減免91,170)	567	1,925	1,129,479	587	0	0	0	0	0	0
		E特定奨励・特定研修・学術奨励・教育奨励	717 (うち減免0)	118,148 (うち減免0)	165	671	175,975	262	3	742	247	0	0	0
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	15 (うち減免0)	1,960 (うち減免0)	131	21	3,220	153	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	144 (うち減免5)	34,017 (うち減免1,368)	236	108	21,917	203	0	0	0	0	0	0
		Hその他	3,084 (うち減免161)	685,411 (うち減免32,577)	222	3,240	766,350	237	163	128,380	788	181	148,580	821
I受入留学生		6,574 (うち減免4,213)	2,128,459 (うち減免211,243)	324	5,300	1,785,838	337							

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成22年度	平成21年度
第一種	定期(予約採用)	6,023	6,193
	定期(在学採用)	14,474	16,434
	定期外(緊急採用)	335	403
	第一種計	20,832	23,030
	第二種	定期(予約採用)	34,838
定期(在学採用)		32,724	34,760
定期外(緊急採用)		416	820
第二種計		67,978	67,077
総件数		88,810	90,107
(入学時特別増額)		6,561	5,514

大学院			
制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成22年度	平成21年度
第一種	定期	6,448	6,780
	定期外(緊急採用)	15	21
	第一種計	6,464	6,801
第二種	定期(予約採用)	3,044	2,366
	定期外(緊急採用)	17	25
	第二種計	3,061	2,391
総件数		9,525	9,192
(入学時特別増額)		263	233

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

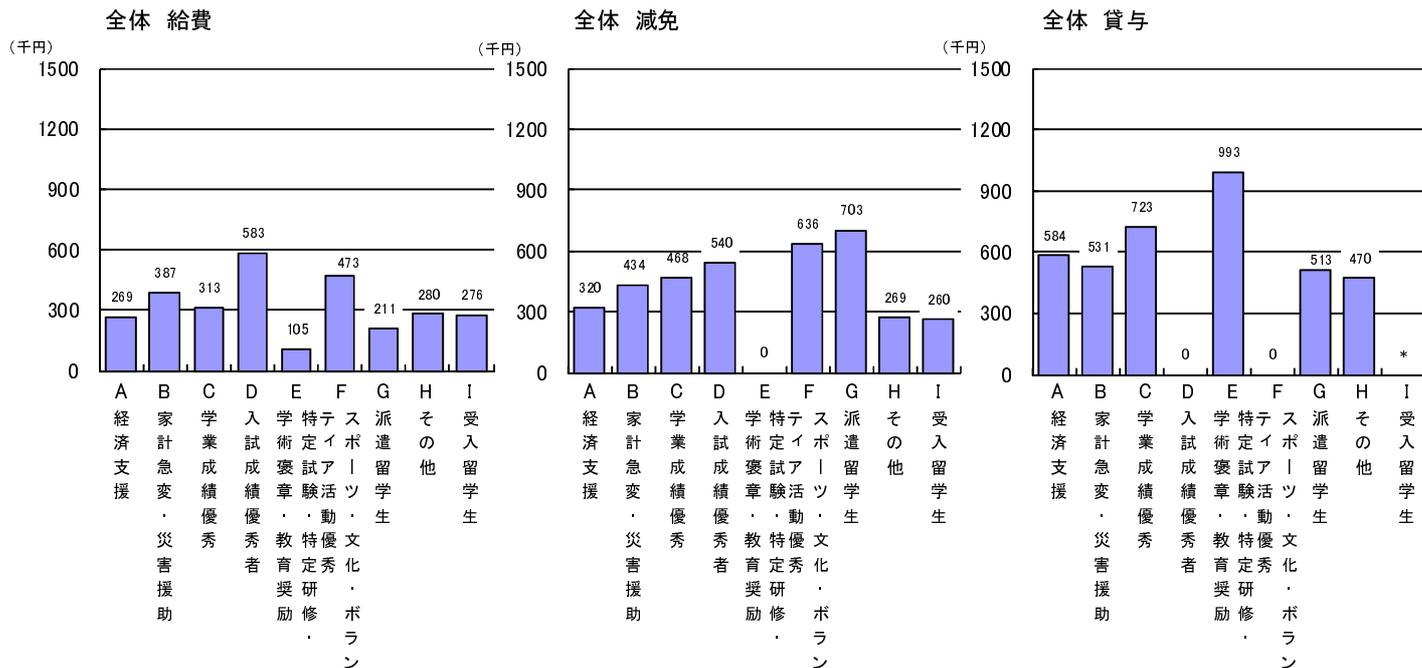
	平成22年度		平成21年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	482	9	328	10

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制度	平成22年度		平成21年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	76,210	13,625	72,829	13,343
第二種	214,050	4,804	194,572	4,631
計	290,260	18,429	267,401	17,974

(平成22年度 学部学生一人当たり支給金額)

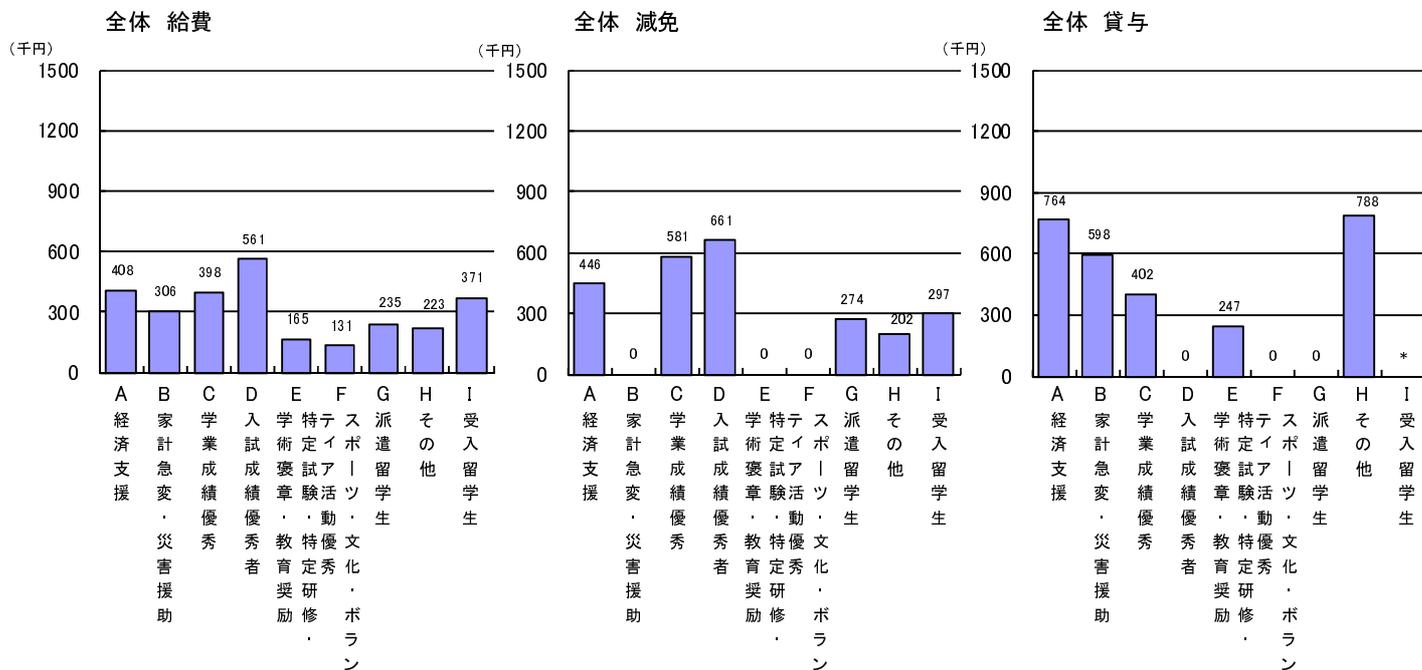
*印は集計の対象外



- 給費型では、学部学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 授業料等減免では、学部学生一人当たり支給金額はG「派遣留学生」が最も多い。
- 貸与型では、学部学生一人当たり支給金額はE「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」が最も多い。

(平成22年度 大学院学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外



- 給費型では、大学院学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 授業料等減免では、大学院学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 貸与型では、大学院学生一人当たり支給金額はH「その他」(主に専門職大学院学生への奨学金)が最も多く、次にA「経済支援」が多い。

(2) グループ別集計

大学名	グループ1(学部学生数1万人以上28大学)
-----	-----------------------

【人数単位:人】
【金額単位:千円】

【学生数】平成22・21年5月1日現在

	平成22年		平成21年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	621,723	47,308	604,745	44,758
うち 留 学 生				
交換留学生	790	166	1,586	173
国費留学生	25	721	47	878
私費留学生	9,523	4,792	9,136	4,584
計	10,338	5,679	10,769	5,635

I. 学内奨学金支給実績総括表

【学部学生】

学内奨学金制度			給費						貸与					
			平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度		
			人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額
学部 学 生	奨 学 型	A経済支援	12,004 (うち減免490)	3,298,168 (うち減免170,095)	275	10,303	2,486,872	241	4,781	2,645,872	553	4,836	2,509,551	519
		B家計急変・災害援助	544 (うち減免3)	212,156 (うち減免1,085)	390	577	228,908	397	35	21,472	613	32	20,225	632
	育 英 型	C学業成績優秀	8,461 (うち減免54)	3,030,568 (うち減免149,190)	358	7,626	2,676,473	351	0	0	0	0	0	0
		D入試成績優秀者	1,801 (うち減免83)	1,203,731 (うち減免88,466)	668	1,588	1,068,763	673	0	0	0	0	0	0
		E特選試験・特選研修・学術奨励・教育奨励	1,168 (うち減免0)	213,210 (うち減免0)	183	952	158,863	167	13	65,000	5,000	11	55,000	5,000
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	1,618 (うち減免131)	850,024 (うち減免95,707)	525	1,608	846,678	527	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	3,459 (うち減免245)	853,883 (うち減免223,346)	247	2,930	603,198	206	15	5,200	347	17	6,100	359
	その他	3,031 (うち減免0)	935,948 (うち減免0)	309	3,989	1,324,254	332	79	27,700	351	195	67,944	348	
I受入留学生	9,560 (うち減免4,751)	2,381,226 (うち減免117,788)	249	8,475	2,119,502	250								

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

【大学院学生】

学内奨学金制度			給費						貸与					
			平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度		
			人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額
大 学 院 学 生	奨 学 型	A経済支援	1,902 (うち減免109)	791,794 (うち減免34,092)	416	1,834	816,784	445	748	508,393	680	673	481,403	715
		B家計急変・災害援助	10 (うち減免0)	3,267 (うち減免0)	327	7	1,856	265	1	580	580	1	450	450
	育 英 型	C学業成績優秀	4,590 (うち減免96)	1,875,305 (うち減免58,325)	409	4,854	1,740,518	359	22	8,360	380	16	6,080	380
		D入試成績優秀者	1,961 (うち減免77)	1,157,026 (うち減免72,310)	590	1,569	922,767	588	0	0	0	0	0	0
		E特選試験・特選研修・学術奨励・教育奨励	644 (うち減免0)	111,453 (うち減免0)	173	624	171,584	275	3	742	247	0	0	0
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	9 (うち減免0)	1,650 (うち減免0)	183	16	2,820	176	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	114 (うち減免5)	26,605 (うち減免1,368)	233	94	17,935	191	0	0	0	0	0	0
	その他	2,850 (うち減免124)	621,832 (うち減免19,997)	218	3,023	711,430	235	48	32,080	668	45	31,320	696	
I受入留学生	4,772 (うち減免3,062)	1,558,992 (うち減免94,641)	327	3,491	1,091,537	313								

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制 度	学 部	採用の種類	新規採用件数	
			平成22年度	平成21年度
			第一種	定期(予約採用)
	定期(在学採用)	9,759	11,132	
	定期外(緊急採用)	224	246	
	第一種計	13,729	15,292	
第二種	定期(予約採用)	20,420	18,104	
	定期(在学採用)	22,121	22,268	
	定期外(緊急採用)	261	557	
	第二種計	42,802	40,929	
	総件数	56,531	56,221	
	(入学時特別増額)	3,571	2,964	

制 度	大 学 院	採用の種類	新規採用件数	
			平成22年度	平成21年度
			第一種	定期
	定期外(緊急採用)	9	19	
	第一種計	5,552	5,846	
第二種	定期(予約採用)	2,579	1,947	
	定期外(応急採用)	13	20	
	第二種計	2,592	1,967	
	総件数	8,144	7,813	
	(入学時特別増額)	215	169	

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

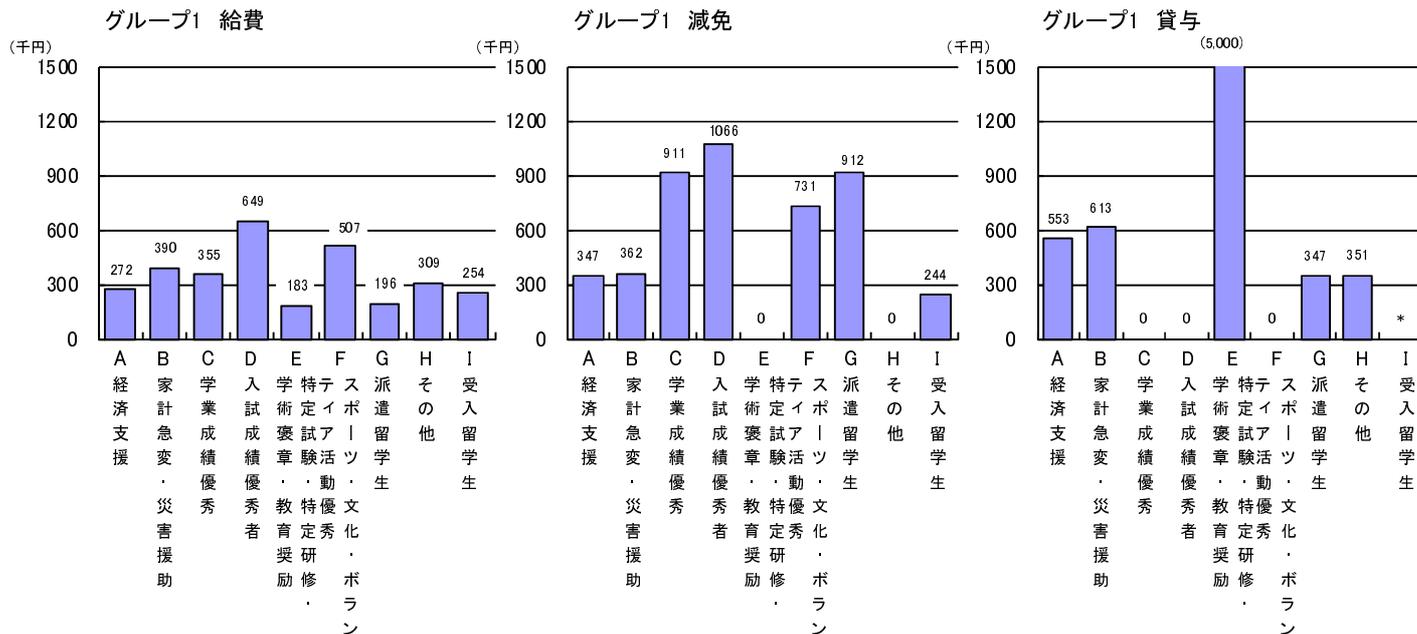
	平成22年度		平成21年度	
	学部	大学院	学部	大学院
	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)
総件数	257	8	154	9

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制 度	平成22年度		平成21年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	50,737	11,709	48,303	11,386
第二種	134,616	3,934	122,954	3,731
計	185,353	15,643	171,257	15,117

(平成22年度 学部学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外

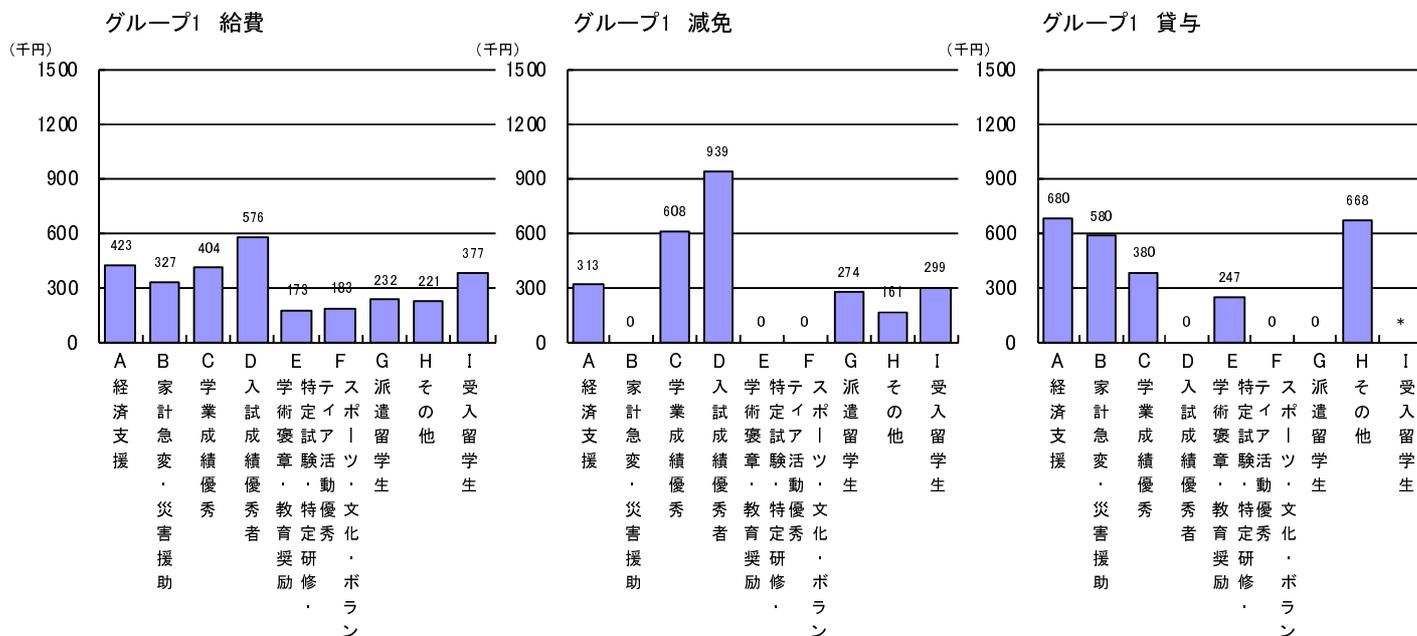


- 給費型では、学部学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 授業料等減免でも、学部一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次にG「派遣留学生」が多い。
- 貸与型では、学部一人当たり支給金額はE「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」が最も多い。

→グループ1では、学内奨学金等制度は、貸与型から給費型にシフトしている。
特に、貸与型のC「学業成績優秀」は支給実績がなく、グループ2及び3と比較して特徴的。

(平成22年度 大学院学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外



- 給費型では、大学院学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 授業料等減免でも、大学院学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 貸与型では、大学院学生一人当たり支給金額はA「経済支援」が最も多く、次にH「その他」(主に専門職大学院学生への奨学金)が多い。

大学名	グループ2(学部学生数4千人～1万人未満)7大学
------------	--------------------------

【人数単位:人】
【金額単位:千円】

【学生数】平成22・21年5月1日現在

	平成22年		平成21年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	231,607	8,432	224,823	8,584
うち 留 学 生				
交換留学生	832	42	536	47
国費留学生	24	117	54	135
私費留学生	5,906	1,360	6,100	1,295
計	6,762	1,519	6,690	1,477

I. 学内奨学金支給実績総括表

【学部学生】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度		
		人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額
学部 学 生	奨 学 型	A経済支援 (うち減免177)	602,948 (うち減免43,659)	289	1,972	592,503	300	1,027	658,954	642	1,053	647,205	615
		B家計急変・災害援助 (うち減免37)	85,605 (うち減免17,985)	426	170	62,803	369	42	23,460	559	36	27,804	772
	育 英 型	C学業成績優秀 (うち減免75)	676,811 (うち減免23,520)	216	3,075	621,989	202	76	54,210	713	81	56,480	697
		D入試成績優秀者 (うち減免442)	551,100 (うち減免188,944)	470	1,003	485,053	484	0	0	0	0	0	0
		E特定試験・特定研修・学術奨励・教育奨励 (うち減免0)	29,181 (うち減免0)	34	638	20,426	32	4	936	234	4	996	249
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀 (うち減免154)	188,746 (うち減免105,022)	382	419	149,594	357	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生 (うち減免94)	216,400 (うち減免32,015)	281	593	137,104	231	29	20,800	717	23	17,000	739
その他	Hその他 (うち減免837)	223,894 (うち減免167,400)	173	1,592	403,427	253	84	24,950	297	98	29,200	298	
	I受入留学生 (うち減免2,703)	1,226,838 (うち減免691,863)	288	5,862	2,990,302	510							

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度		
		人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額
大 学 院 学 生	奨 学 型	A経済支援 (うち減免4)	88,213 (うち減免1,280)	414	195	76,755	394	401	364,432	909	348	322,209	926
		B家計急変・災害援助 (うち減免0)	0 (うち減免0)	0	2	600	300	3	1,810	603	4	2,835	709
	育 英 型	C学業成績優秀 (うち減免132)	330,162 (うち減免74,370)	417	903	401,401	445	10	4,500	450	15	6,400	427
		D入試成績優秀者 (うち減免61)	98,317 (うち減免18,860)	413	223	114,192	512	0	0	0	0	0	0
		E特定試験・特定研修・学術奨励・教育奨励 (うち減免0)	5,263 (うち減免0)	99	30	2,844	95	0	0	0	0	0	0
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀 (うち減免0)	300 (うち減免0)	100	5	400	80	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生 (うち減免0)	6,415 (うち減免0)	279	12	3,282	274	0	0	0	0	0	0
その他	Hその他 (うち減免11)	52,329 (うち減免4,410)	284	161	43,287	269	115	96,300	837	136	117,260	862	
	I受入留学生 (うち減免948)	410,524 (うち減免238,577)	284	1,432	521,570	364							

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成22年度	平成21年度
第一種	定期(予約採用)	1,678	1,596
	定期(在学採用)	3,384	3,644
	定期外(緊急採用)	81	98
	第一種計	5,143	5,338
第二種	定期(予約採用)	10,293	9,174
	定期(在学採用)	7,772	8,881
	定期外(緊急採用)	98	144
	第二種計	18,163	18,199
	総件数	23,306	23,537
	(入学時特別増額)	2,172	1,721

制度	採用の種類	新規採用件数	
		平成22年度	平成21年度
第一種	定期	727	750
	定期外(緊急採用)	3	1
	第一種計	730	751
第二種	定期(予約採用)	377	342
	定期外(応急採用)	2	4
	第二種計	379	346
	総件数	1,109	1,067
	(入学時特別増額)	36	56

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

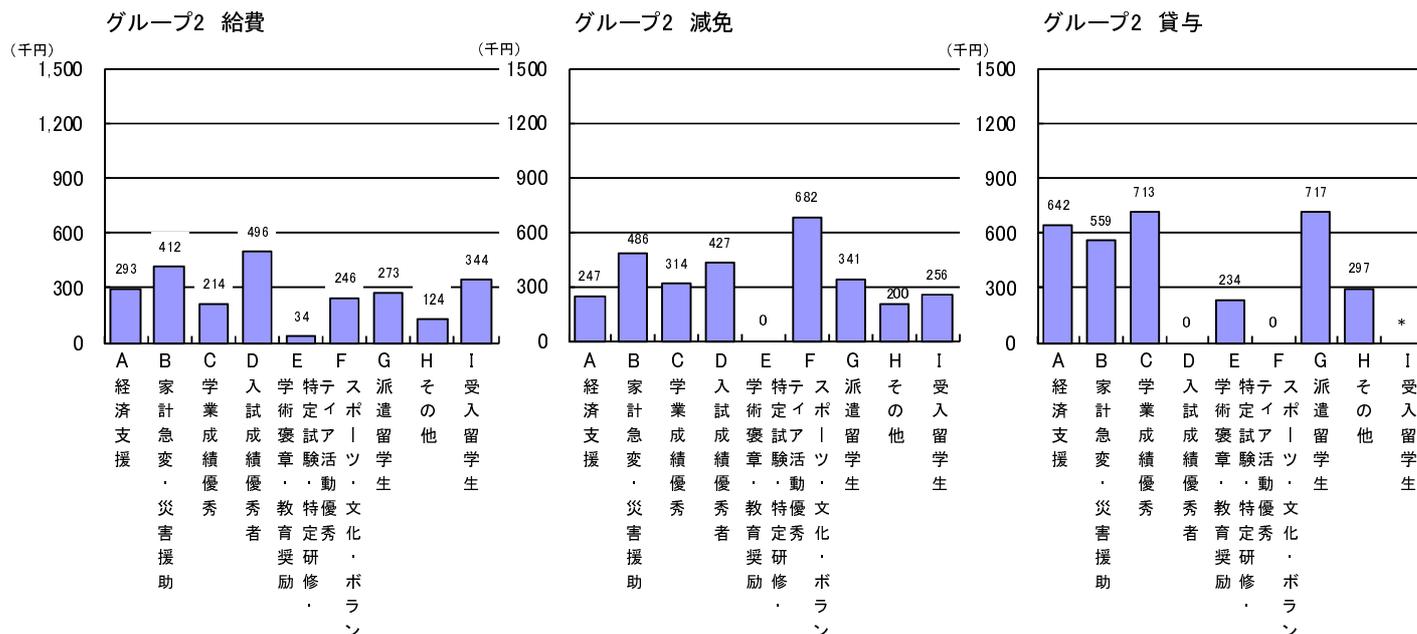
	平成22年度		平成21年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	117	0	97	0

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制度	平成22年度		平成21年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	18,601	1,559	16,461	1,524
第二種	58,252	749	47,703	750
計	76,853	2,308	64,164	2,274

(平成22年度 学部学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外

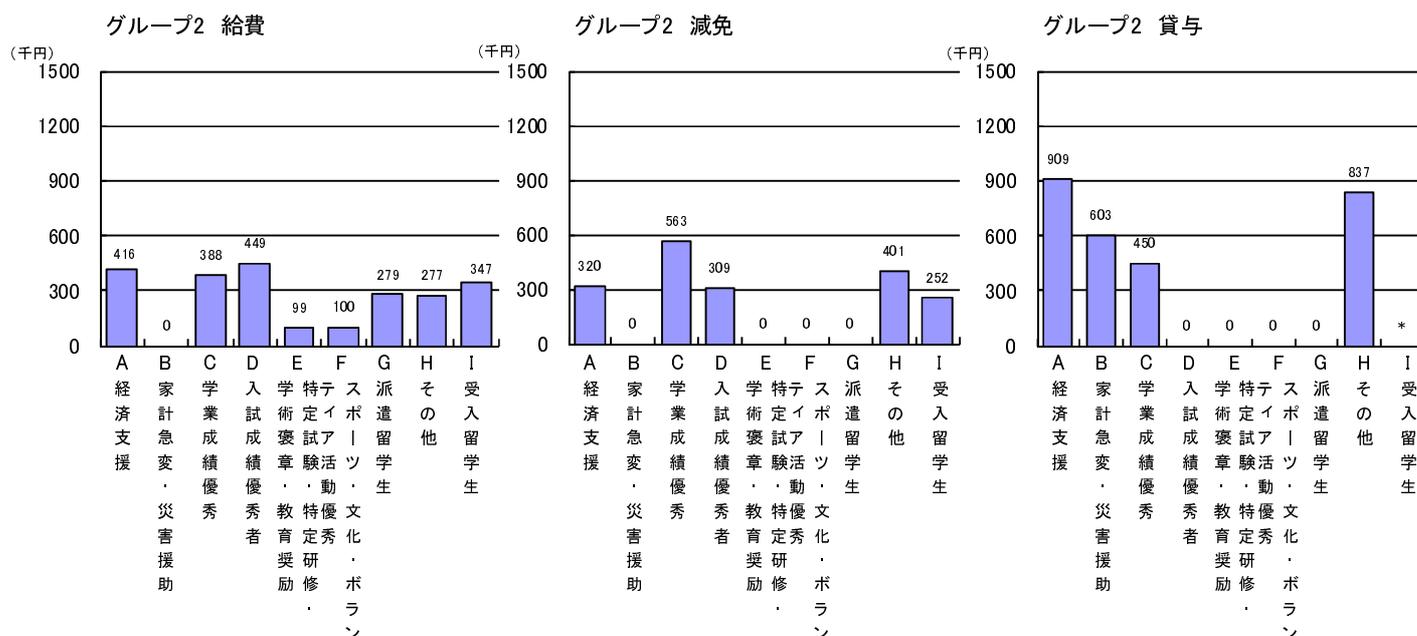


- 給費型では、学部学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 授業料等減免では、学部一人当たり支給金額はF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が最も多い。
- 貸与型では、学部一人当たり支給金額はG「派遣留学生」が最も多く、次にC「学業成績優秀」が多い。

→グループ2では、給費型のF「スポーツ・文化・ボランティア活動」は、グループ1及び3と比較して最も少なくなっている。
 →貸与型のG「派遣留学生」は、グループ1および3と比較して最も多くなっている。

(平成22年度 大学院学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外



- 給費型では、大学院学生一人当たり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。
- 授業料等減免では、大学院学生一人当たり支給金額はC「学業成績優秀」が最も多い。
- 貸与型では、大学院学生一人当たり支給金額はA「経済支援」が最も多く、次にH「その他」が多い。

大学名	グループ3(学部学生数4千人未満58大学)
-----	-----------------------

【人数単位:人】
【金額単位:千円】

【学生数】平成22・21年5月1日現在

	平成22年		平成21年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	92,682	3,786	104,925	3,909
うち 留 学 生				
交換留学生	207	14	330	27
国費留学生	1	36	13	35
私費留学生	1,944	482	2,241	588
計	2,152	532	2,584	650

I. 学内奨学金支給実績総括表

【学部学生】

学内奨学金制度			給費						貸与					
			平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度		
			人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額
学部 学 生	奨 学 型	A経済支援	1,108 (うち減免136)	228,228 (うち減免43,534)	206	1,064	217,703	205	826	567,384	687	825	568,463	689
		B家計急変・災害援助	72 (うち減免18)	20,867 (うち減免6,085)	290	89	28,427	319	42	18,225	434	30	15,068	502
	育 英 型	C学業成績優秀	1,181 (うち減免392)	375,900 (うち減免171,083)	318	1,104	389,996	353	16	12,290	768	17	12,805	753
		D入試成績優秀者	750 (うち減免335)	378,050 (うち減免186,741)	504	605	350,592	579	0	0	0	0	0	0
		E特定試験・特定研修・学術奨励・教育奨励	369 (うち減免0)	8,548 (うち減免0)	23	417	12,443	30	94	44,279	471	83	36,625	441
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	738 (うち減免305)	405,728 (うち減免174,425)	550	669	386,019	577	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	400 (うち減免44)	94,613 (うち減免13,857)	237	219	53,437	244	17	5,300	312	14	3,550	254	
Hその他	824 (うち減免635)	265,574 (うち減免228,479)	322	936	319,786	342	317	172,820	545	193	111,250	576		
I受入留学生		2,908 (うち減免1,451)	868,368 (うち減免466,564)	299	2,965	895,810	302							

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

【大学院学生】

学内奨学金制度			給費						貸与					
			平成22年度			平成21年度			平成22年度			平成21年度		
			人数	給費額	一人あたり給費額	人数	給費額	一人あたり給費額	人数	貸与額	一人あたり貸与額	人数	貸与額	一人あたり貸与額
大 学 院 学 生	奨 学 型	A経済支援	370 (うち減免168)	145,360 (うち減免90,040)	393	174	43,989	253	65	54,929	845	58	45,888	791
		B家計急変・災害援助	1 (うち減免0)	100 (うち減免0)	100	0	0	*	0	0	0	0	0	0
	育 英 型	C学業成績優秀	174 (うち減免1)	46,495 (うち減免300)	267	160	36,799	230	0	0	0	0	0	0
		D入試成績優秀者	37 (うち減免0)	12,975 (うち減免0)	351	133	92,520	696	0	0	0	0	0	0
		E特定試験・特定研修・学術奨励・教育奨励	20 (うち減免0)	1,432 (うち減免0)	72	17	1,547	91	0	0	0	0	0	0
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	3 (うち減免0)	10 (うち減免0)	3	0	0	*	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	7 (うち減免0)	997 (うち減免0)	142	2	700	350	0	0	0	0	0	0	
Hその他	50 (うち減免26)	11,250 (うち減免8,170)	225	56	11,633	208	0	0	0	0	0	0		
I受入留学生		359 (うち減免203)	158,943 (うち減免99,923)	443	377	172,731	458							

※平成21年減免データなし(平成21年度給費額に含まれる)

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制 度	学 部	採用の種類	新規採用件数	
			平成22年度	平成21年度
			第一種	定期(予約採用)
	定期(在学採用)	1,331	1,658	
	定期外(緊急採用)	30	59	
	第一種計	1,960	2,400	
第二種	定期(予約採用)	4,125	4,219	
	定期(在学採用)	2,831	3,611	
	定期外(緊急採用)	57	119	
	第二種計	7,013	7,949	
	総件数	8,973	10,349	
	(入学時特別増額)	818	829	

制 度	大 学 院	採用の種類	新規採用件数	
			平成22年度	平成21年度
			第一種	定期
	定期外(緊急採用)	3	1	
	第一種計	182	204	
第二種	定期(予約採用)	88	77	
	定期外(応急採用)	2	1	
	第二種計	90	78	
	総件数	272	282	
	(入学時特別増額)	12	8	

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

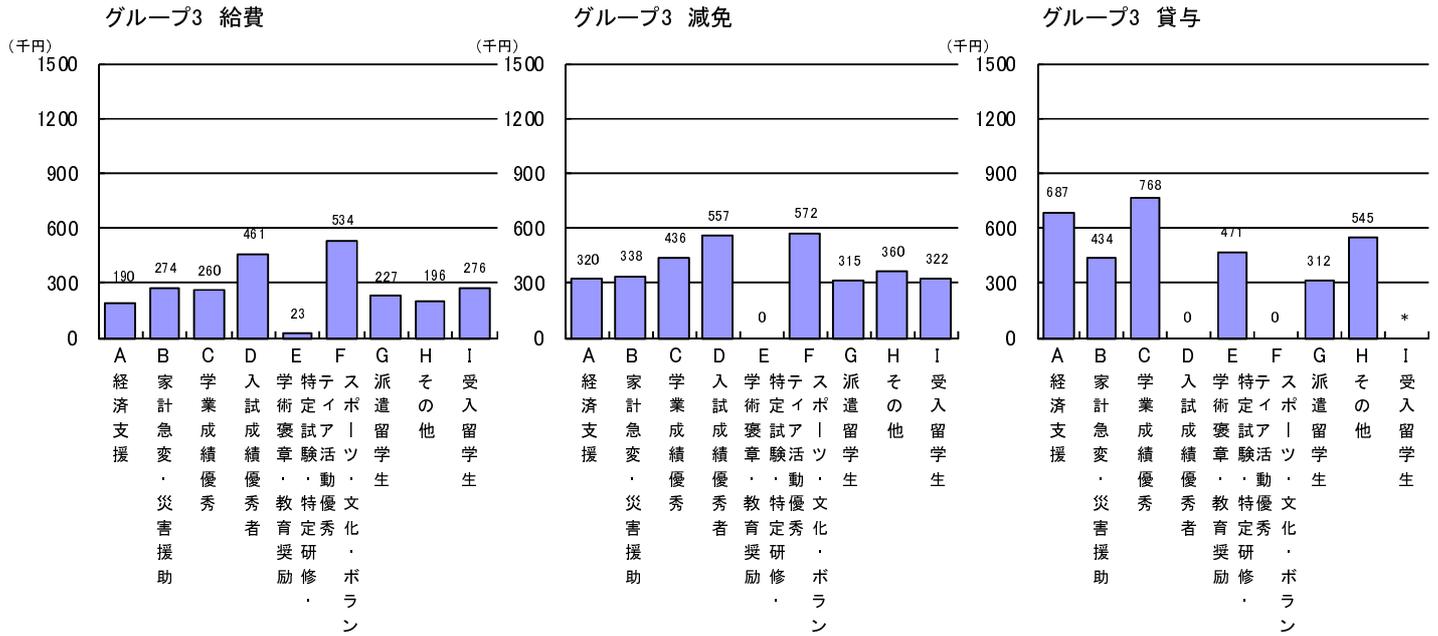
	平成22年度		平成21年度	
	学部	大学院	学部	大学院
	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)
総件数	108	1	77	1

③奨学生総件数(新規及び継続合計)

制 度	平成22年度		平成21年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	6,872	357	8,065	433
第二種	21,182	121	23,915	150
計	28,054	478	31,980	583

(平成22年度 学部学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外

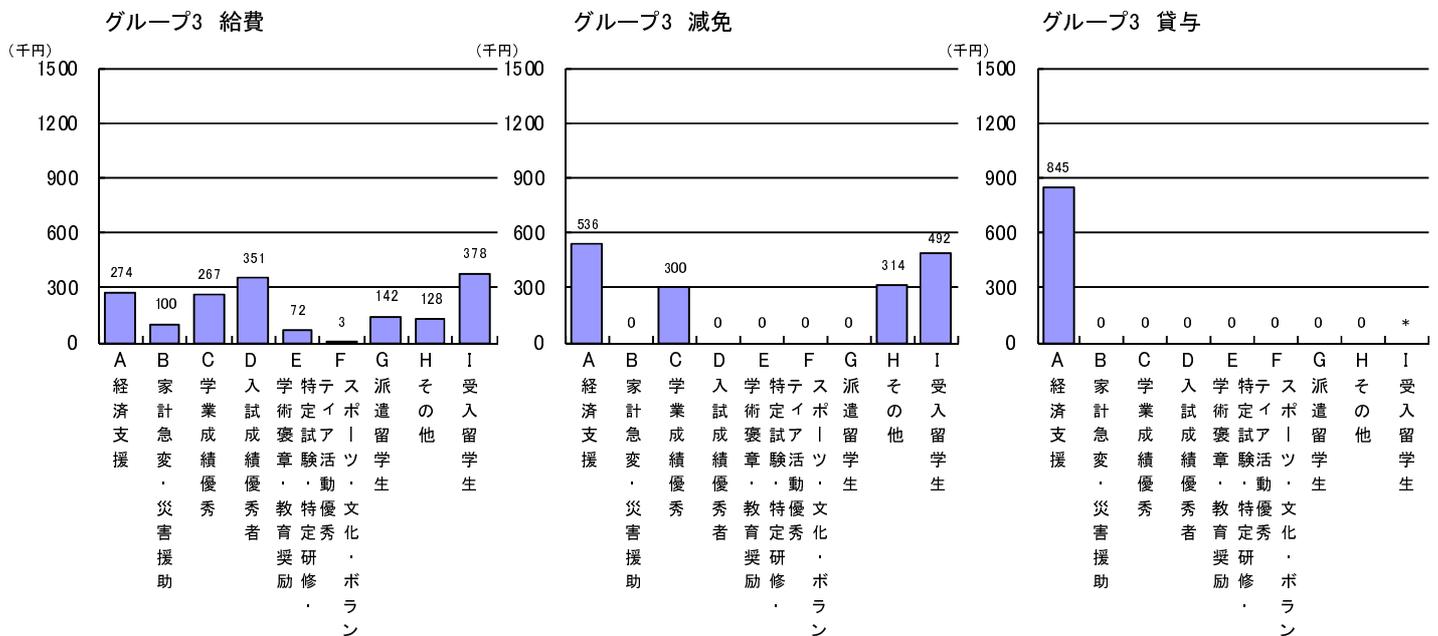


- 給費型では、学部学生一人当たり支給金額はF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が最も多い。
- 授業料等減免でも、学部一人当たり支給金額はF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が最も多く、次いでD「入試成績優秀者」が多い。
- 貸与型では、学部一人当たり支給金額はC「学業成績優秀」が最も多い。

→グループ3では学内奨学金制度は、給費型と貸与型双方で運用されている。

(平成22年度 大学院学生一人当たり支給金額)

*印は集計の対象外

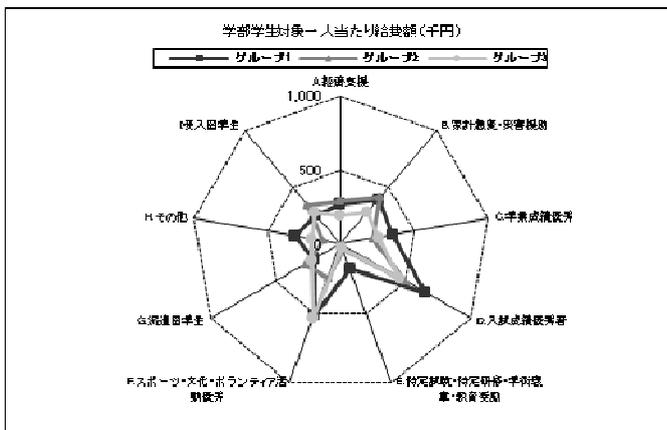


- 給費型では、大学院学生一人当たり支給金額はI「受入留学生」が最も多い。
- 授業料等減免では、大学院学生一人当たり支給金額はA「経済支援」が最も多い。
- 貸与型では、大学院学生一人当たり支給金額はA「経済支援」のみ支給実績がある。

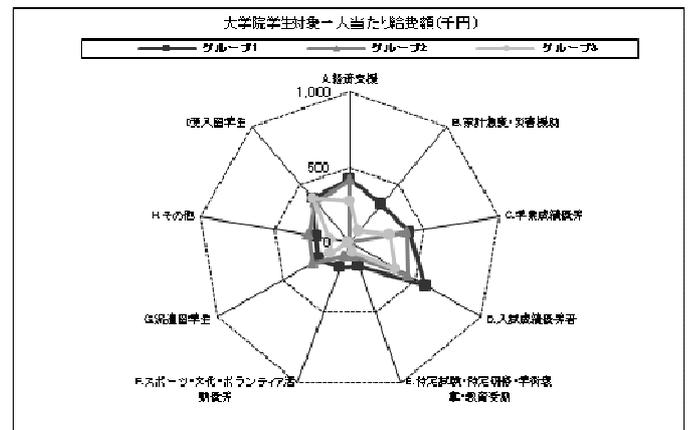
(3) 学生一人当たり支給額のグループ比較レーダーチャート (平成22年度学内奨学金等制度)

(【給費】グループ比較)

学部

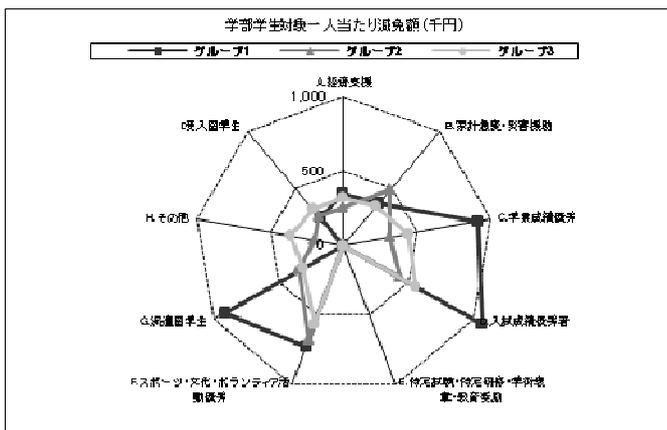


大学院

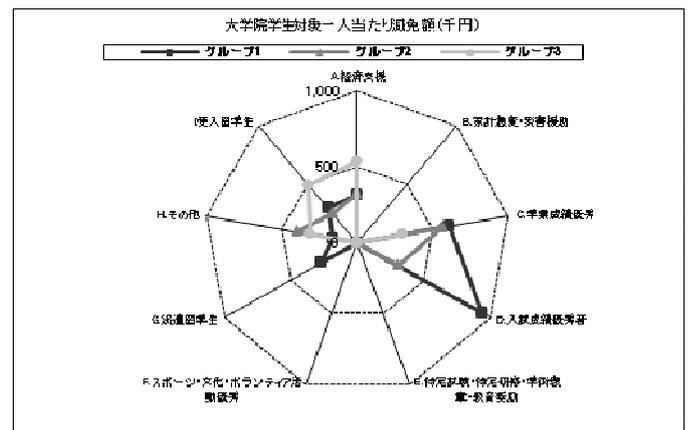


(【減免】グループ比較)

学部

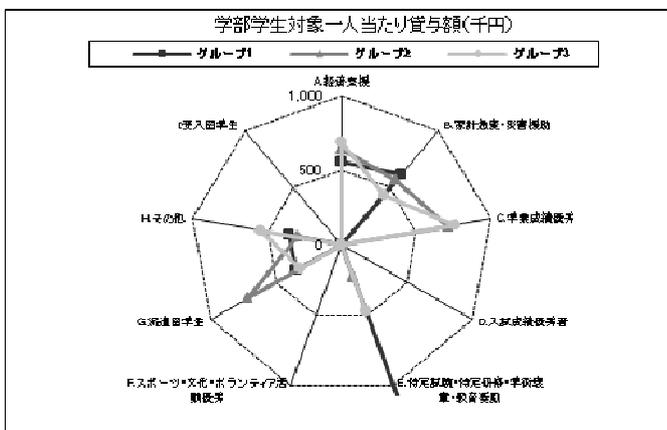


大学院

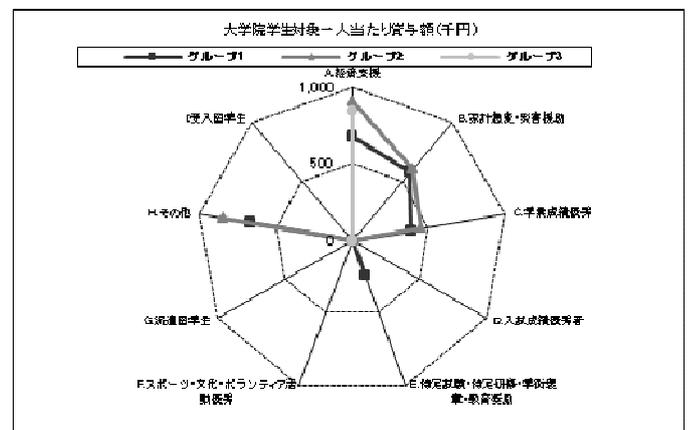


(【貸与】グループ比較)

学部



大学院



(4) 学内奨学金等支給実績推移表（平成17年度～平成22年度）

※全体集計のみ掲載。この推移表は、グループ別の推移表とともに、連盟ホームページの加盟大学専用ページ内「データベース」に掲載しています。【Excel形式】

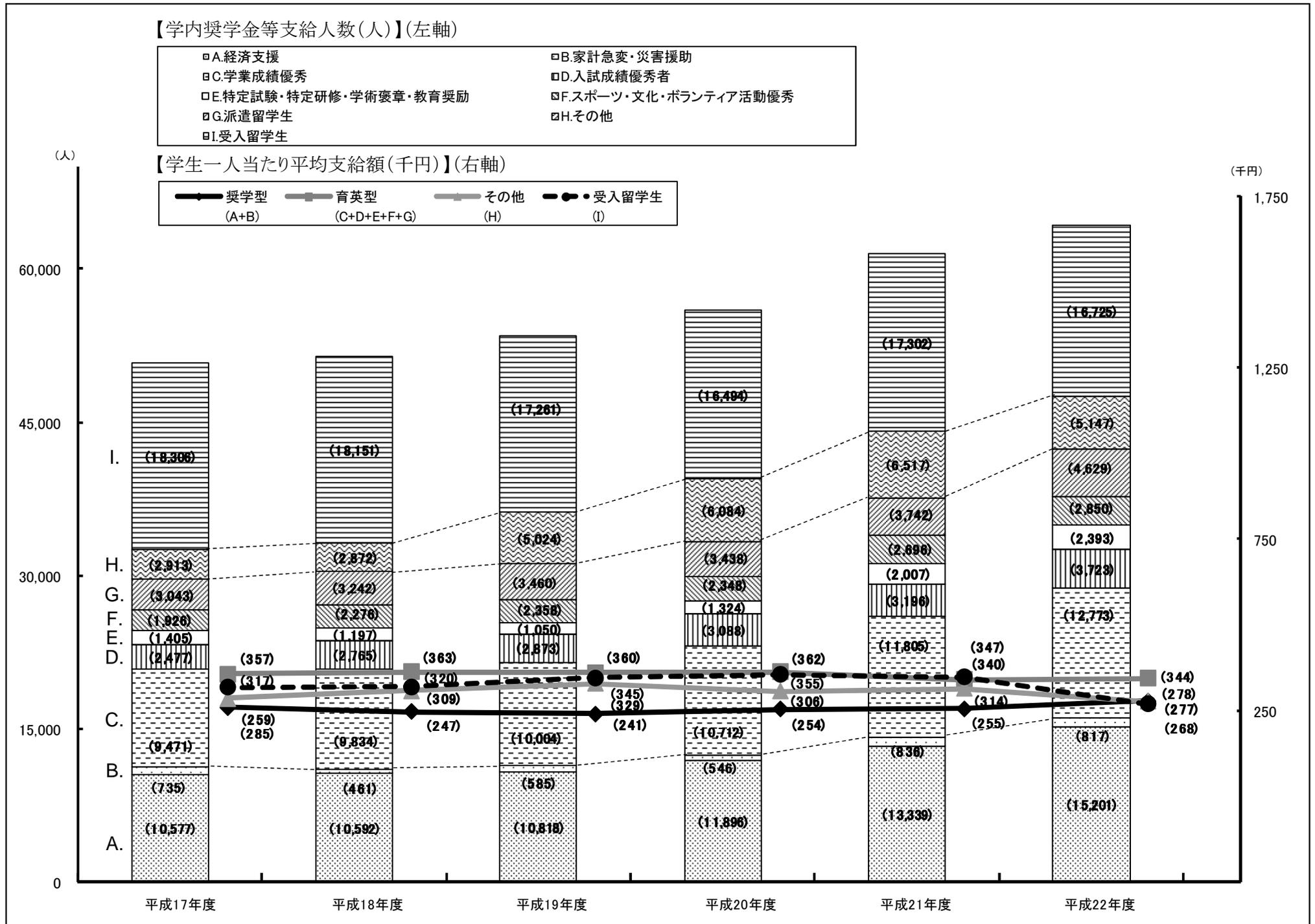
【学部学生】

奨学 学 型	学内奨学金制度		給費										貸与				
	区分	人数	金額	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	※(C)内注	※(C)内注	※(C)内注	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
A経済支援	人数	10,577	10,592	10,818	11,896	13,339	15,201	(803)				8,196	7,136	6,985	7,014	6,714	6,634
	金額	2,635,678	2,537,253	2,535,794	2,959,480	3,297,078	4,129,344	(257,288)				4,231,972	3,765,690	3,720,352	3,858,838	3,742,769	3,872,210
B家計急変・災害援助	人数	299,049	170,744	213,682	200,233	320,138	318,628	(25,155)				516	528	533	550	557	584
	金額	299,049	170,744	213,682	200,233	320,138	318,628	(25,155)				132	108	88	95	98	119
C学業成績優秀	人数	9,471	9,834	10,004	10,712	11,805	12,773	(521)				167	97	261	264	98	92
	金額	3,277,404	3,442,597	3,452,554	3,659,491	3,688,458	4,083,279	(243,793)				117,970	69,350	121,705	125,095	69,285	66,500
D入試成績優秀者	人数	2,477	2,765	2,873	3,088	3,196	3,723	(860)				706	715	466	474	707	723
	金額	1,413,964	1,580,124	1,621,779	1,781,662	1,904,408	2,132,881	(464,151)				0	0	7	6	0	0
E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	人数	1,405	1,197	1,050	1,324	2,007	2,393	(0)				0	0	4620	3,960	0	0
	金額	182,513	161,332	146,817	204,443	191,732	250,939	(0)				14	18	65	93	98	111
Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	人数	1,926	2,276	2,358	2,348	2,696	2,850	(590)				1930	2,790	28,646	107,220	92,621	110,215
	金額	995,591	1,142,506	1,122,925	1,163,659	1,382,291	1,444,498	(375,154)				138	155	441	1,153	945	993
G派遣留学生	人数	3,043	3,242	3,460	3,438	3,742	4,629	(383)				46	61	62	61	54	61
	金額	671,202	682,270	765,048	768,868	793,739	1,164,896	(269,218)				16,150	28,000	29,861	29,093	26,650	31,300
Hその他	人数	2,913	2,872	5,024	6,084	6,517	5,147	(1,472)				351	459	482	477	494	513
	金額	831,023	887,900	1,654,024	1,862,914	2,047,467	1,425,416	(395,879)				331	308	371	430	486	480
受入留学生	人数	18,306	18,151	17,261	16,494	17,302	16,725	(8,905)				463	443	428	423	429	470
	金額	5,797,094	5,802,691	5,956,727	5,850,719	6,005,614	4,476,432	(2,316,215)				0	0	0	0	0	0

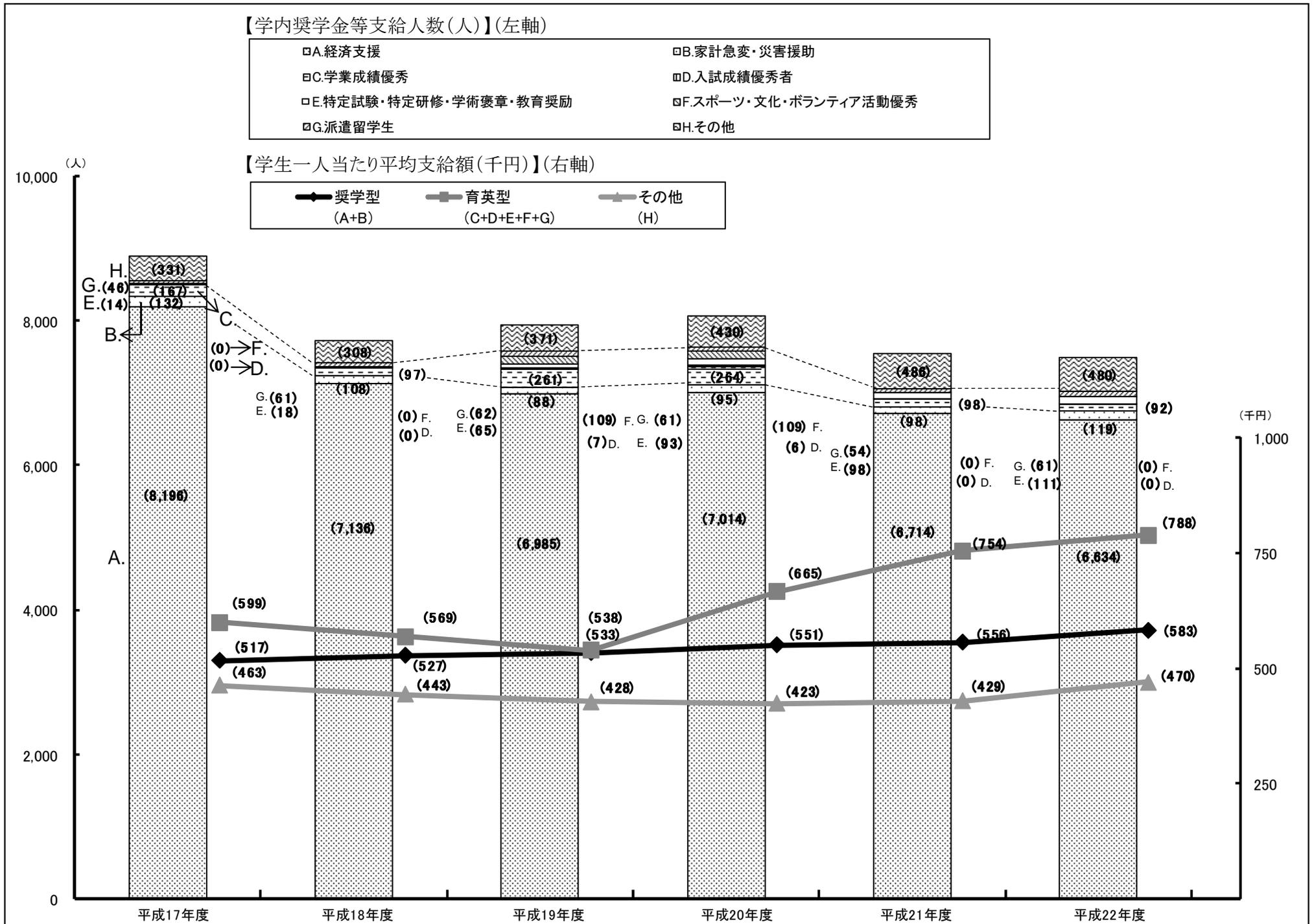
【大学院学生】

奨学 学 型	学内奨学金制度		給費										貸与				
	区分	人数	金額	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	※(C)内注	※(C)内注	※(C)内注	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
A経済支援	人数	2,008	2,129	1,957	1,952	2,203	2,485	(281)				1,348	1,340	1,085	1,174	1,079	1,214
	金額	745,755	803,741	766,542	803,871	937,528	1,025,367	(125,412)				1,041,089	1,025,267	794,704	875,263	849,500	927,754
B家計急変・災害援助	人数	11	4	22	17	9	11	(0)				772	765	732	746	787	764
	金額	3,946	916	6,186	6,150	2,456	3,367	(0)				1	2	2	2	5	4
C学業成績優秀	人数	5,113	5,430	5,823	5,867	5,917	5,556	(229)				1,305	255	383	581	657	598
	金額	1,881,555	2,074,221	2,039,888	2,149,934	2,178,718	2,251,962	(132,995)				40	37	34	33	31	32
D入試成績優秀者	人数	899,814	954,603	924,808	949,289	1,129,479	1,268,318	(91,170)				17,790	16,990	14,670	13,315	12,480	12,860
	金額	899,814	954,603	924,808	949,289	1,129,479	1,268,318	(91,170)				445	459	431	403	403	402
E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	人数	121,214	66,341	98,433	97,039	175,975	118,148	(0)				0	0	0	0	0	0
	金額	121,214	66,341	98,433	97,039	175,975	118,148	(0)				0	0	0	0	0	0
Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	人数	23	29	19	11	21	15	(0)				0	0	0	0	0	0
	金額	3,060	4,515	2,587	1,651	3,220	1,960	(0)				0	0	0	0	0	0
G派遣留学生	人数	30,815	23,256	50,486	43,786	21,917	34,017	(1,368)				0	500	0	375	0	0
	金額	30,815	23,256	50,486	43,786	21,917	34,017	(1,368)				0	500	0	375	0	0
Hその他	人数	2,192	2,473	2,473	2,832	3,240	3,084	(161)				178	163	444	437	181	163
	金額	420,992	438,437	452,613	592,311	766,350	685,411	(32,577)				152,170	140,520	266,300	261,570	148,580	128,380
受入留学生	人数	4,035	4,578	4,993	5,159	5,300	6,574	(4,213)				855	862	600	599	821	788
	金額	1,271,307	1,446,429	1,603,471	1,717,133	1,785,838	2,128,459	(1,253,141)				0	0	0	0	0	0

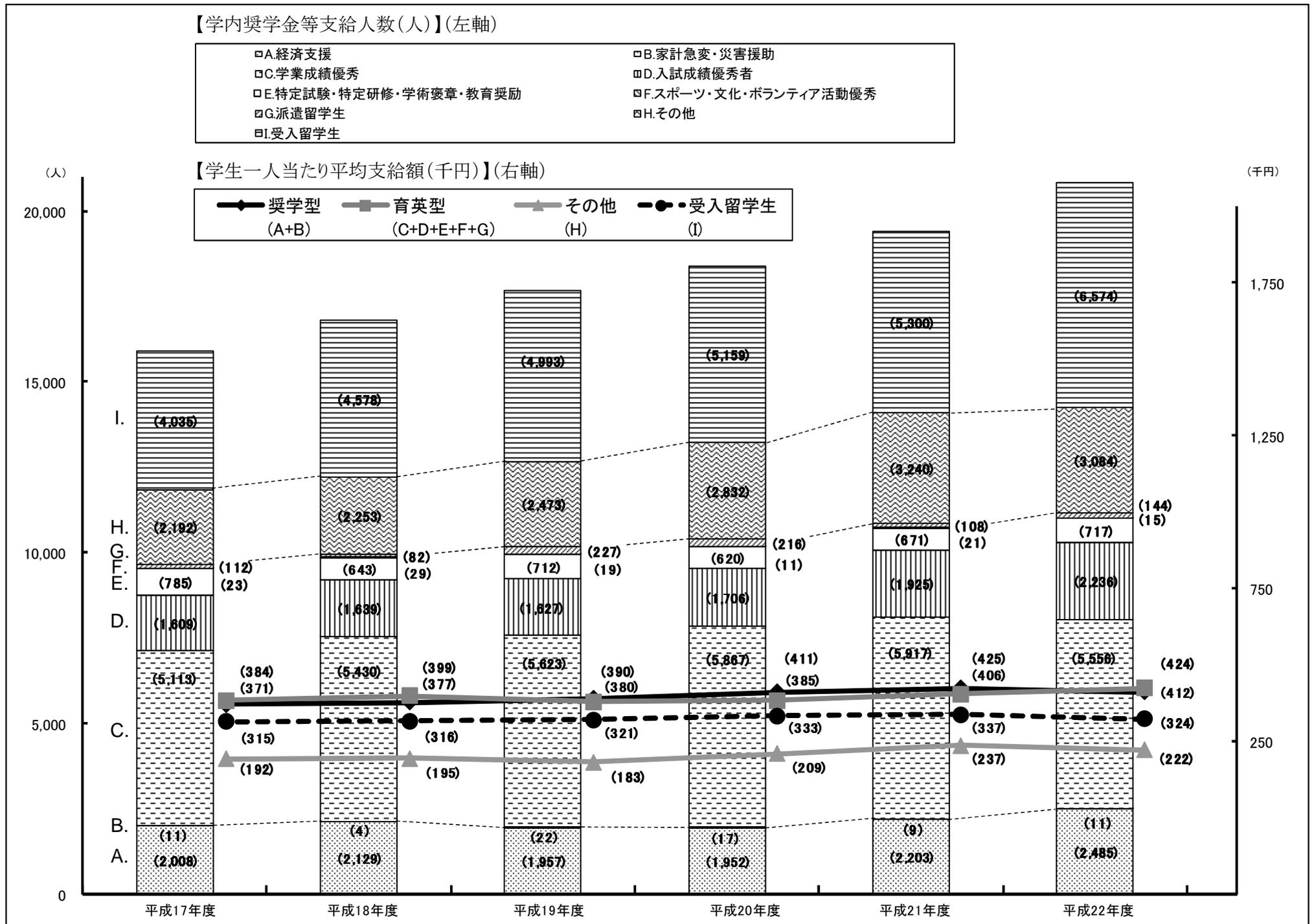
(5) ①全体123大学【学部学生：給費】支給人数と一人当たり平均支給額の推移（平成22年度学内奨学金等制度）



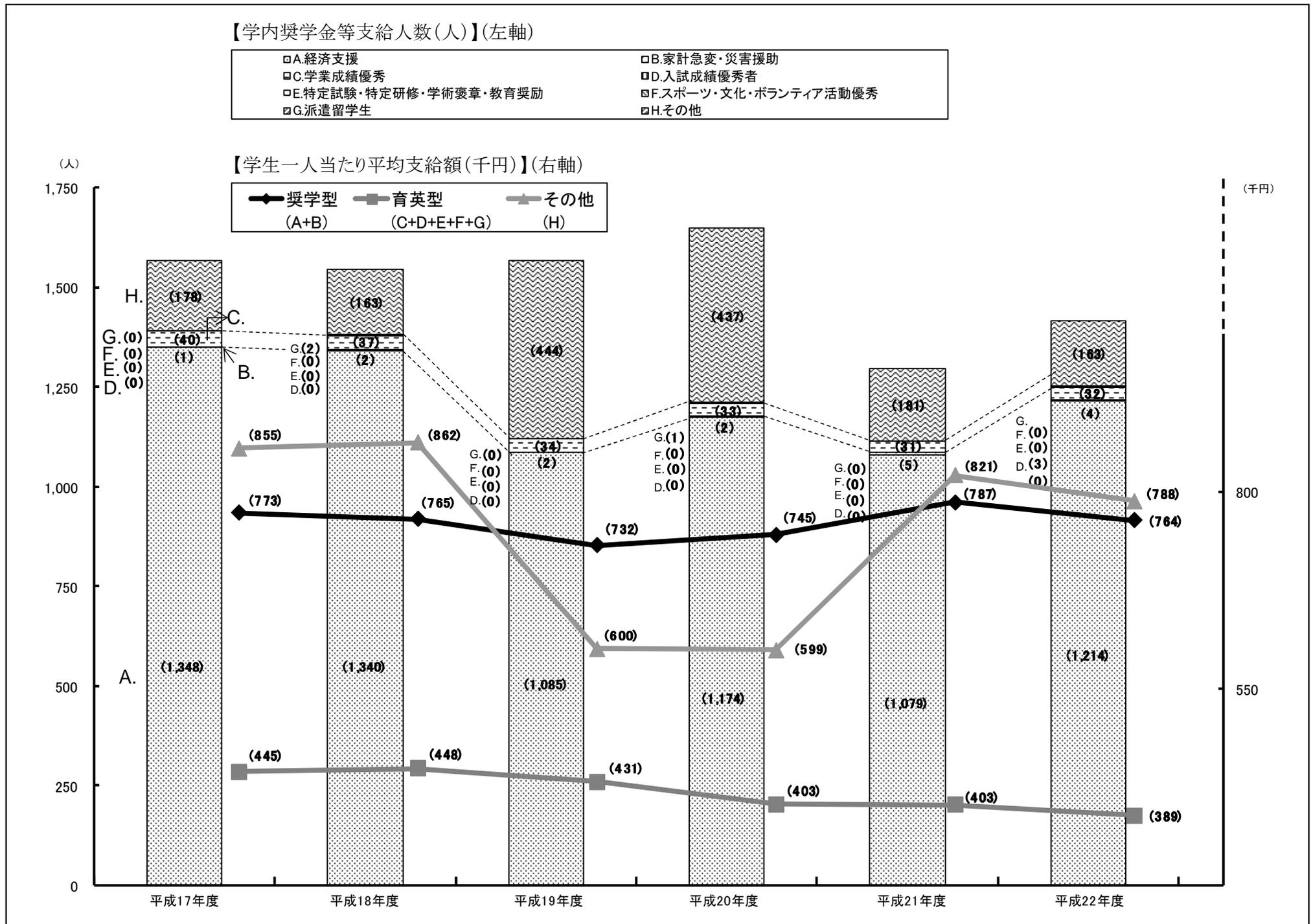
(5) ②全体123大学【学部学生：貸与】支給人数と一人当たり平均支給額の推移（平成22年度学内奨学金等制度）



(5) ③全体123大学【大学院学生：給費】支給人数と一人当たり平均支給額の推移（平成22年度学内奨学金等制度）



(5) ④全体123大学【大学院学生：貸与】支給人数と一人当たり平均支給額の推移（平成22年度学内奨学金等制度）



5. テーマ設問

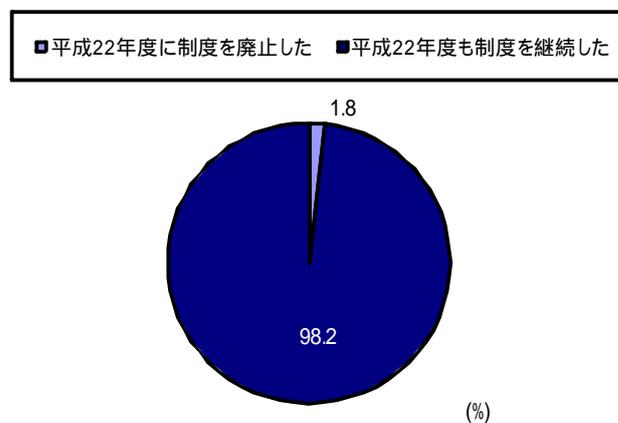
「平成22年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度の現状」集計結果

平成22年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度

【Q1SQ1:平成22年度の対応について】

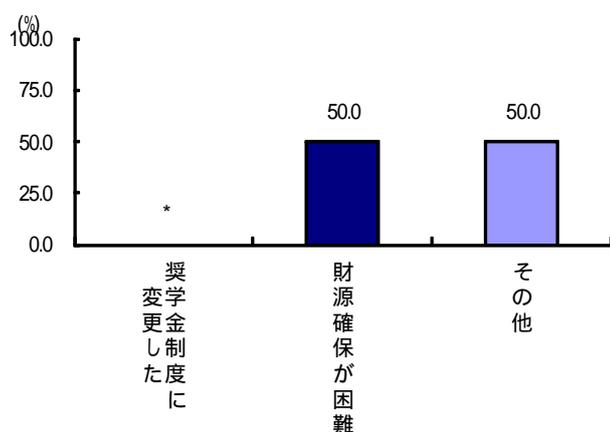
平成21年度に「授業料減免学校法人援助」の対象となる授業料減免制度があった110大学の回答

平成22年度以降「授業料減免学校法人援助（外国人留学生就学援助補助金）」は廃止されたが、平成21年度まで補助金の対象となる授業料減免制度があった大学のうち108大学（98.2%）が、平成22年度も制度を継続した。平成22年度に廃止したのは2大学（1.8%）のみであった。



【Q1SQ1-1:制度を廃止した理由(複数回答)】

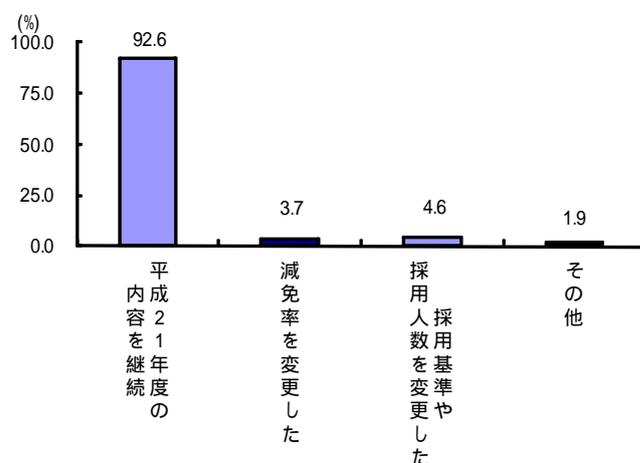
Q1SQ1で制度を廃止した2大学の回答



Q1SQ1-1 その他の内容
n=1 入学金減免など新たな奨学金制度の導入

【Q1SQ1-2:制度内容について(複数回答)】

Q1SQ1で制度を継続した108大学の回答



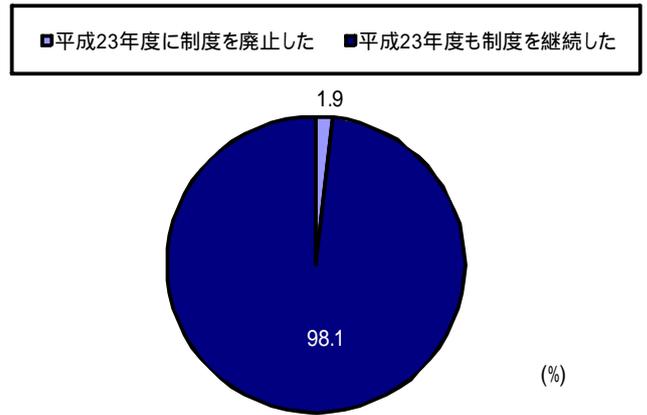
Q1SQ1-2 その他の内容
n=2 平成22年度以降の入学者の減免率を変更した
予算を削減した

【Q1SQ2:平成23年度の対応について】

平成22年度に「授業料減免学校法人援助」の対象となる授業料減免制度があった108大学の回答

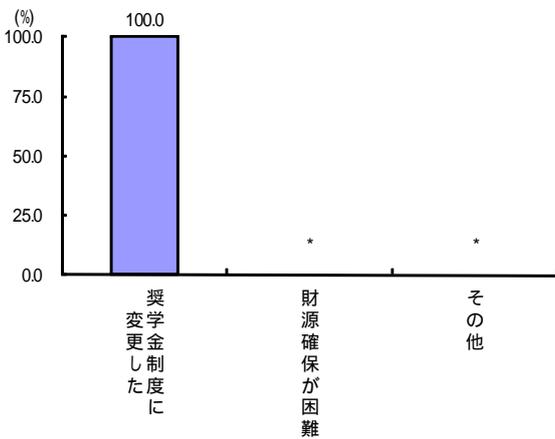
平成22年度に外国人留学生への授業料減免制度継続した大学のうち106大学(98.1%)が、平成23年度も制度を継続している。

平成23年度に廃止したのは2大学(1.9%)のみあった。



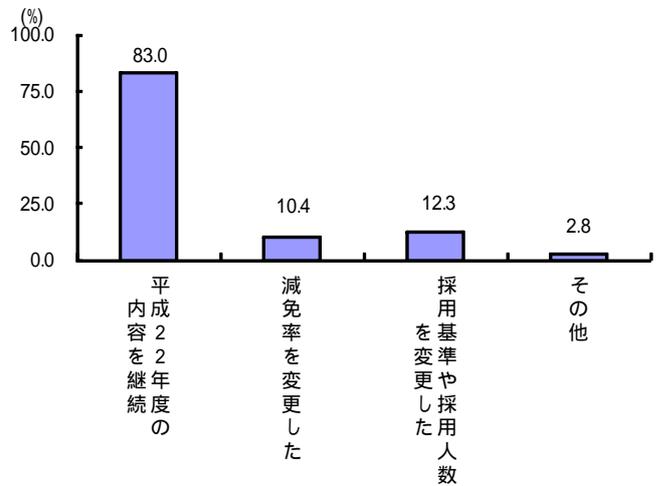
【Q1SQ2-1:制度を廃止した理由(複数回答)】

Q1SQ2で制度を廃止した2大学の回答



【Q1SQ2-2:制度内容について(複数回答)】

Q1SQ2で制度を継続した106大学の回答



Q1SQ2-2 その他の内容
n=3

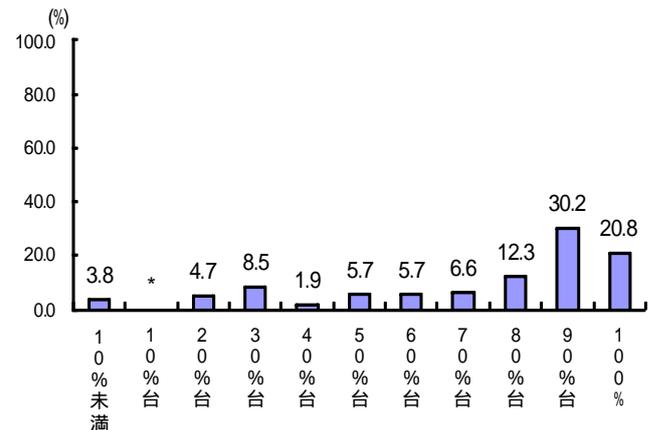
大学院生の減免制度は23年度入学者より廃止
予算を削減した
平成23年度入学生から、成績により翌年の減免率を変えることとした

制度の対象となる外国人留学生の比率

【Q2:授業料減免制度の対象となっている外国人留学生の割合】

Q1SQ2で平成23年度も制度を継続した106大学の回答

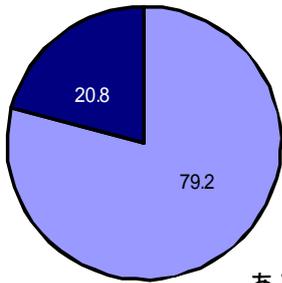
受け入れている外国人留学生のうち、どの程度の割合が制度の対象となっているか、おおよその割合をたずねた。32大学(30.2%)が90%、22大学(20.8%)が100%と回答し、全体の半数(51.0%)を占めている。



制度内容

【Q3:選考基準はあるか】

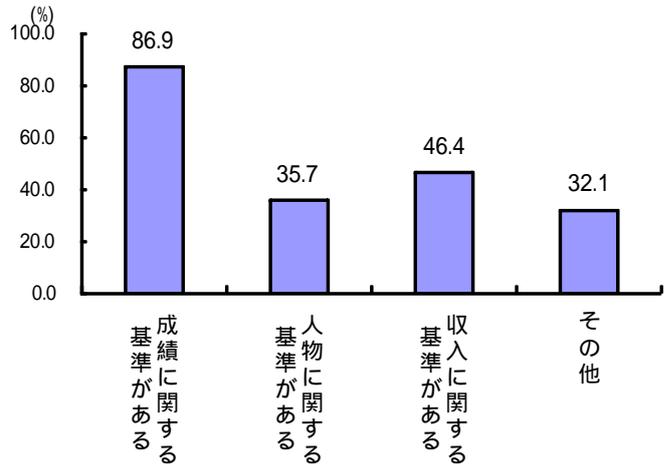
Q1SQ2で平成23年度も制度を継続した106大学の回答



(%)
ある 84大学 (79.2%)
ない 22大学 (20.8%)

【Q3SQ1:選考基準の内容(複数回答)】

Q3で選考基準があると回答した84大学の内容



Q3SQ1-1 成績に関する
n=73 基準の内容

GPAによる基準(8)
学習奨励費に準ずる成績係数を基準学部1.5以上、研究科2.5以上
前年度学業成績係数が1.9以上
評価係数を算出
成績評価係数を算出し選考
既得単位数
1~3年生は一学期の修得単位数が14単位以上であること
学年ごとに基準修得単位数を設けている
(2年:30単位以上、3年:60単位以上、4年:90単位以上)
学年毎に最低修得単位数を規定
出席日数、取得単位数が少くない者は受給対象外
所定の単位数を前年度に修得する、大学独自のポイント
前年度16単位以上
各学期での総取得単位数
前年度の取得単位数
前年度取得単位が20単位以下の者は除外
年次ごとに取得すべき単位数を決めている
前年度の必修単位数が少くないものは対象外
書類選考(4)
成績表の確認(3)
前年度成績通知書の提出
前年度の成績をもとに審査する
不可の評価がない者
学業成績が良好で卒業の見込みがある者
前年度成績に基づき研究科教授会で審査
学生部長による面談等による審査
教授会の推薦により部長会で決定
学科会議
博士課程委員会で総合的に判定する
選考委員会で選考(1)
入学試験、高校の成績
入試の成績順に%を決定(学部)
入試成績及び在籍時の学業成績を基に選考
成績不振で卒業の見込みがない者は除外
正規卒業年限内に可能かどうか
出席、履修状況により支給しない場合がある
前年度留年、入学後2回留年は対象外
前年度成績/成績評価係数/出席日数良好
2年次以上について、前年度までの成績、
進級状況を国際交流センターにて確認する
一定基準以上の日本語能力を有していること
私費外国人留学生授業料減免に関する規程による

Q3SQ1-2 人物に関する
n=30 基準の内容

面接や個人面談(11)
書類審査や面接(4)
選考委員や教授会の推薦(5)
学業継続の意思(4)
国際交流への参加、在留資格の確認
在留資格「留学」以外の者、休学者は対象外
人物学業ともに優れた学問研究に熟意を有していること
日々の生活態度等を審査
私費外国人留学生授業料減免に関する規程による

Q3SQ1-3 収入に関する
n=39 基準の内容

経済的に就学が困難であること(8)
月額収入が13万円を超える者は除外
月収25万円以下
仕送り(授業料関係を除く)9万円以下の者とする
主たる家計支持者の年収(日本円換算)
他の奨学金が月額8万円未満、在日扶養者の年収が500万円未満
本人が申告した収入を基に選考
書類審査による(4)
申請書を提出
貸室賃貸借契約書、扶養者が国内の場合源泉徴収票
自己申告票による
学生の記入した調査票を基に審査
授業料減免申請書に経済状況を記入させ審査する
提出書類の確認
調書により経済状況を確認している
教授会や学生部長による面談、審査(4)
選考委員会の選考(1)
教授会の推薦により部長会で決定
日本学生支援機構大学院1種奨学金受給資格(2)
学習奨励費の基準に準ずる
仕送り、住宅家賃、その他奨学金の有無
仕送り額を確認する
日本国内に主たる家計支持者がいない

Q3SQ1-4
n=27

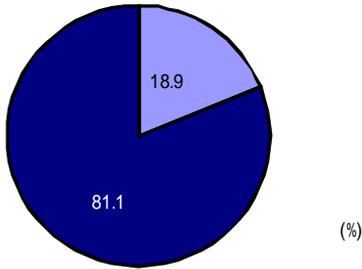
その他の
基準の内容

その他の内容	基準の内容
オリエンテーションの出席	減免を申請したい学生は必ずオリエンテーションに出席するただし、諸事情がある場合は事前に窓口にご相談させていただきます
委員会による審査	国際交流センターによる書類審査
学籍に関する基準	留年した者、休学中の者は受給対象外
学納金納入と提出書類	前年度および当年度春学期の学納金を所定の期日までに完納していること 規程の期日までに所定の申請書類を提出していること
休学	全期休学した者は除外
経済的困窮具合	申請書に記入の収入・支出項目全額にて経済状況を把握
国・地域別基準	おおまかに、国・地域の経済水準により受給対象者を配分している
査証資格	「留学」であること
取得単位	(記入なし)
修業年限	修業年限内の者
出席日数	授業出席日数2/3以上
進級	留年している場合は不可
全留学生	(記入なし)
対象者の制限	最短修業年限を超えた学生は対象にならない

制度の対象となる納入授業料等の費目

【Q4:納入授業料全体が減免の対象となっているか】

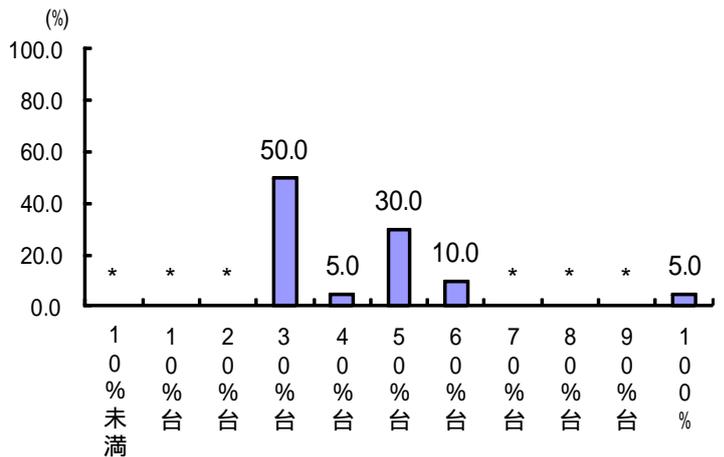
Q1SQ2で平成23年度も制度を継続した106大学の回答



全体が対象 20大学 (18.9%)
全体が対象ではない 86大学 (81.1%)

【Q4SQ1:全体が減免対象となる場合のおおよその減免率】

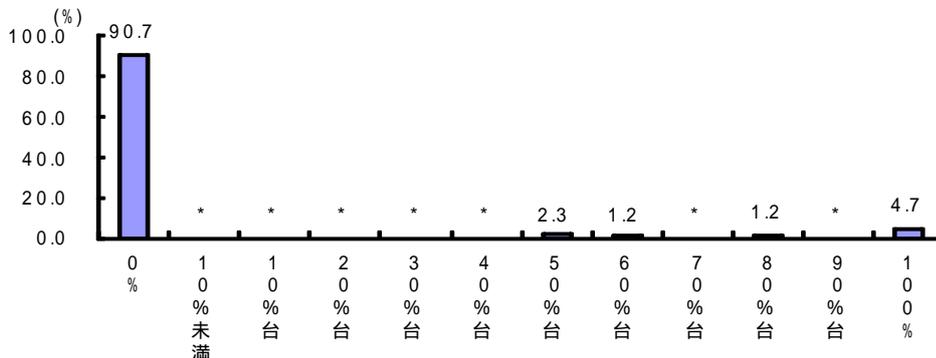
Q4で全体が減免対象になると回答した20大学の内容



【Q5:納入授業料全体が減免の対象となっていない場合の費目ごとのおおよその減免率】

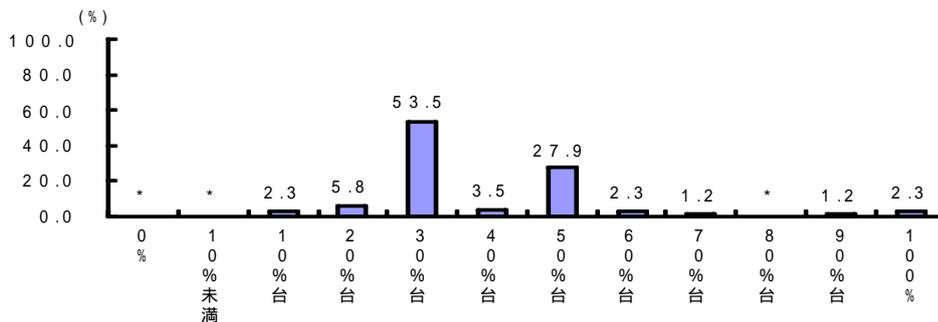
【Q5SQ1:入学金の減免率】

Q4で全体が減免対象ではないと回答した86大学の内容



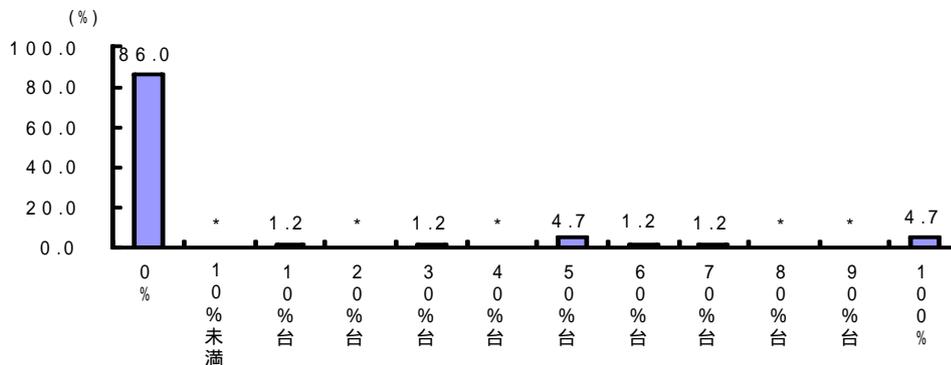
【Q5SQ1:授業料の減免率】

Q4で全体が減免対象にならないと回答した86大学の内容



【Q5SQ3:その他の減免率】

Q4で全体が減免対象にならないと回答した86大学の内容



Q5SQ3 その他の減免率の内容
n=25

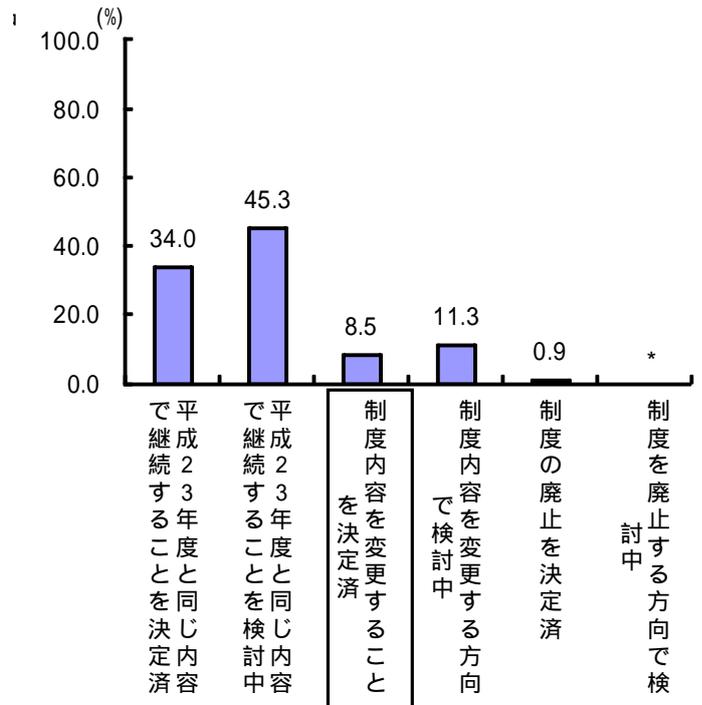
- 施設設備費等(14)
- 教育充実費(4)
- 維持料・諸会費など(2)
- 実験実習費(2)
- 大学院入学金
- 諸費
- 協定大学の場合

平成 24 年度以降の制度検討状況

【Q6:平成24年度の対応(複数回答)】

Q1SQ2で平成23年度も制度を継続した106大学の回答

平成24年度の対応をどのように考えているかたずねたところ、「平成23年度と同じ内容で継続することを検討中」が48大学(45.3%)、「平成23年度と同じ内容で継続することを決定済み」が36大学(34.0%)と全体の約8割を占めている。

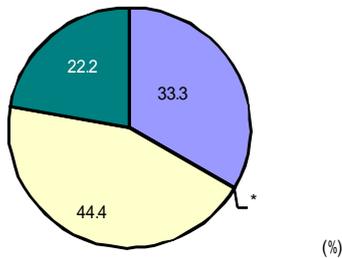


【Q7:制度変更内容の詳細】

【Q7SQ1:減免率】

Q6で平成24年度に制度を変更することを決定済みの9大学の回答

■変更を決定済 ■変更を検討中 ■変更は行わない ■今のところ未定



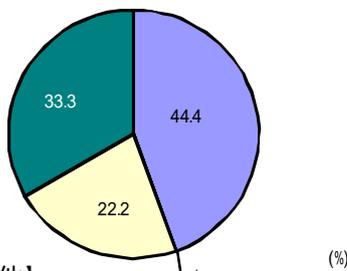
減免率の変更を決定済 3大学(33.3%)
 減免率の変更を検討中 0大学
 減免率の変更は行わない 4大学(44.4%)
 今のところ未定 2大学(22.2%)

小数点第二位を四捨五入のため数値合計が100%ではない

【Q7SQ2:選考基準や採用人数】

Q6で平成24年度に制度を変更することを決定済みの9大学の回答

■変更を決定済 ■変更を検討中 ■変更は行わない ■今のところ未定



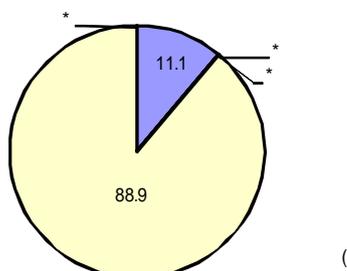
選考基準や採用人数の変更を決定済 4大学(44.4%)
 選考基準や採用人数の変更を検討中 0大学
 選考基準や採用人数の変更は行わない 2大学(22.2%)
 今のところ未定 3大学(33.3%)

小数点第二位を四捨五入のため数値合計が100%ではない

【Q7SQ3:その他】

Q6で平成24年度に制度を変更することを決定済みの9大学の回答

■変更を決定済 ■変更を検討中 ■変更は行わない
 ■今のところ未定 ■無回答



Q7SQ3 その他の検討の内容
 n=1 継続審査基準

その他の変更を決定済 0大学
 その他の変更を検討中 1大学(11.1%)
 その他の変更は行わない 0大学
 今のところ未定 0大学
 無回答 8大学(88.9%)

【付 録】

平成 2 3 年度奨学金等調査（平成 2 2 年度実績）実施要項

社団法人日本私立大学連盟
学 生 委 員 会

本調査実施の目的

本調査は、加盟大学における奨学金等制度の実態、日本学生支援機構の奨学金受給状況を把握し、加盟各大学の学生経済援助施策の企画・立案に資するとともに、当連盟の各種事業活動に役立てることを目的として実施します。

調査内容

データ設問

【学内奨学金等制度に関する調査】

・各大学における学内奨学金等制度による奨学金等の平成 2 2 年度の支給実績について調査するものです。なお、特待生制度を含む授業料等の減免制度も調査対象となります。

【日本学生支援機構奨学金に関する調査】

・各大学における平成 2 2 年度日本学生支援機構奨学金新規採用実績及び日本学生支援機構奨学生総件数（新規及び継続合計）について調査するものです。

テーマ設問

【平成 2 2 年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度の現状】

実施期間

平成 2 3 年 8 月 2 2 日（月）～ 9 月 3 0 日（金）

問い合わせ

【本調査に関する問い合わせ】

社団法人日本私立大学連盟 教学支援担当（権藤、中道）
電 話：03 - 3262 - 3603（直通） メール：kyogaku@shidai ren.or.jp

【調査回答用 H P（ログイン後）の動作に関する問い合わせ】

株式会社ウェイヴインターナショナル（企画室：^{はしもと} 篤本）
電 話：03 - 6226 - 6151 メール：hashimoto@wave-int.co.jp

目 次

回答方法	2
調査結果の公表について	2
【重要】データ設問：制度分類表の変更について	2
【重要】データ設問：制度区分の新設について	3
データ設問の記入要項	3
本調査における用語の定義	4
データ設問の調査票入力項目の説明	5
学内奨学金等制度に関する調査	5
日本学生支援機構奨学金に関する調査	9
本年の調査は、データ設問とテーマ設問で構成しています。2 頁の[回答方法]や別紙「平成 2 3 年度奨学金等調査（平成 2 2 年度実績）調査項目一覧」をご確認ください。	

[回答方法]

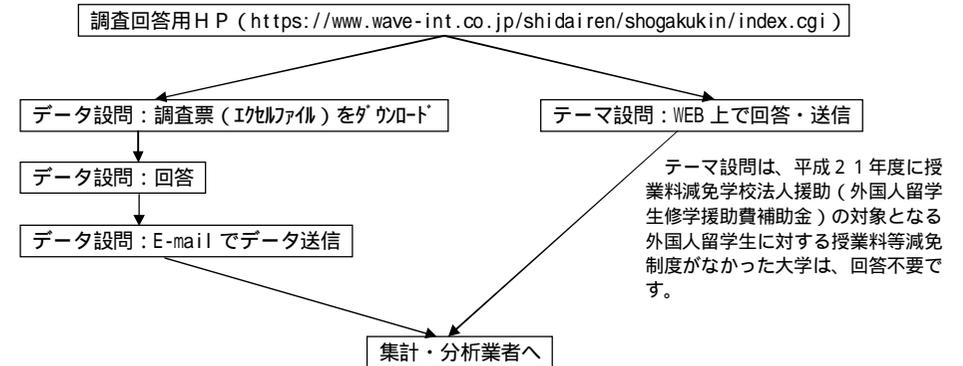
データ設問とテーマ設問で構成する本調査は、「インターネット調査」形式にて実施します。別紙「平成 2 3 年度奨学金等調査（平成 2 2 年度実績）調査項目一覧」をご確認の上、下記 URL にアクセスして、ご回答ください。

<https://www.wave-int.co.jp/shidai ren/shogakukin/index.cgi>

【留意点】

- ・ 1 大学 1 回答のみ有効となります。
- ・ 奨学金部門責任者あるいはそれに準ずる方がご回答ください。
- ・ ご回答に際しては、大学ごとの ID 並びにパスワードが必要となります。貴大学の ID 並びにパスワードは、会員代表者宛に通知しております。

【回答イメージ】



[調査結果の公表について]

1. 調査結果は、報告書としてとりまとめ、加盟各大学に配付します。
2. 「データ設問」は、大学ごとに集計します。本連盟が個別大学の数値を加盟大学以外に公表することはありません。「テーマ設問」は、加盟大学全体で集計・分析します。
3. 本連盟ホームページの加盟大学専用ページ「データライブラリー」にも掲載する予定です（「データライブラリー」を利用するには、予め利用登録が必要です。データライブラリーには過去の調査結果も掲載しています）。

【【重要】データ設問：制度分類表の変更について】

データ設問の「学内奨学金等制度に関する調査」について、今回（平成 2 3 年度）の調査から制度分類表（6、8 頁参照）を一部変更しました。

調査票には昨年度（平成 2 2 年度）のデータ（平成 2 1 年度実績）が入力されていますが、「分類」欄のデータは、制度分類表の変更を反映して、当連盟で修正済みです。

制度分類表の変更点は、5 頁以降の[データ設問の調査票入力項目の説明]部分に記載していますので、回答時にご確認ください。

【重要】データ設問：制度区分の新設について

データ設問の「学内奨学金等制度に関する調査」について、今回（平成 23 年度）の調査から、調査票に「区分」欄を新設しました。本調査で回答いただく学内奨学金等制度ごとに、「給費」「貸与」「減免」いずれかを選択してください。「給費」「貸与」「減免」の定義は、4 頁の[本調査における用語の定義]に記載しています。

【データ設問の記入要項】

各調査票の記入方法、回答にあたってのお願いなどをまとめていますので、回答前にご一読いただき、その上で各調査票にご回答ください。

【各調査票 - 共通事項】

- 調査票は下記 URL よりダウンロードしてください。
<https://www.wave-int.co.jp/shidai ren/shogakukin/index.cgi>
 ダウンロードに際しては、大学ごとの ID 並びにパスワードが必要となります。貴大学の ID 並びにパスワードは、会員代表者宛に通知しております。
- ダウンロードした調査票（エクセルファイル）には 5 種類のシートが入っています。
 【エクセルファイル内のシート】
 - 平成 23 年度奨学金等調査 事務連絡者名簿
 - 学内奨学金等制度（学部学生）
 - 学内奨学金等制度（大学院学生）
 - 学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）
 - 日本学生支援機構奨学金に関する調査
 前回（平成 22 年度）調査に回答いただいた大学へ
 エクセルファイル内のシートには平成 22 年度調査のデータ（平成 21 年度実績）が入力されていますので、本年度（平成 22 年度実績）に修正してください。なお、調査票 ~ について、平成 22 年度に新規創設した制度等（入力されていない制度）については、調査票に新規入力してください。
- 入力終了後、保存の上、下記メールアドレスまで添付送信してください。なお、データを保存の際、ファイル名はダウンロードした際のファイル名[23shogakukin_dataXXX(3桁の数字).xls]とし、変更をしないでください。
 データ送信先：shogaku@shidai ren.or.jp
- 金額を入力する回答欄には、「千円単位」で入力してください（たとえば、150,500 円は百円の位を切り捨てて「150」[千円]となります）。
- 予め用意してある調査票の行数で回答が収まらない場合には、エクセルの「編集」メニューから「シートのコピー」をして、複数枚に分けてご回答ください。
- 「平成 23 年度事務連絡者名簿」には、すべての項目につきまして、必ず入力してください。

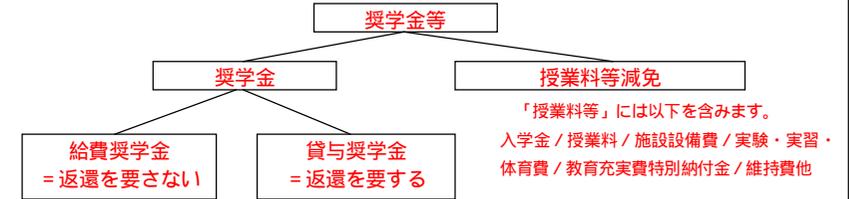
【本調査における用語の定義】

【学内奨学金等制度の定義】

学内奨学金等とは、学校法人の会計を通して、正規学生に給費あるいは貸与される奨学金のほか、授業料等の減免を含みます。

- 奨学金の原資は、奨学基金の運用により生ずる収入であるかどうかを問いません（いわゆる経常費収入を原資とするものを含みます）。
- 学内奨学金には、篤志家が学校法人に指定寄付を行った基金を原資とするいわゆる「冠」奨学金を含みます。その基金を永続的に維持するかどうかは問いません。
- 校友会等や教育後援会等からの寄付金収入を原資とする奨学金も含みます。
- 教育ローン等で原資が学校法人以外の金融機関等であるものは含みません。
- 教育ローンの利子補給を奨学金として経常費等で行った場合は、利子部分のみを学内奨学金としてください。
- 一時預り金等、学校法人の会計を通るものでも、それが真に一時的・名目的なものであってすぐに奨学生に支払うものである場合には、含みません（例えば財団などの奨学金で一旦大学が収納して、改めて奨学生に支払うケースがこれに該当します）。
- 正規学生を調査対象とします。別科生、科目等履修生については調査の対象には含みません。

【給費（給付・給与）奨学金、貸与（貸費）奨学金、授業料等減免の定義】



例）授業料が 100 万円の場合

- 授業料 100 万円が納入された後、50 万円を給付する 給費奨学金に該当
- 授業料 100 万円が納入された後、50 万円を貸し付ける 貸与奨学金に該当
- 授業料等を免除もしくは予め減額された金額を納入する場合 授業料等減免に該当

【対象となる奨学基金の定義】

本調査では、第 3 号基本金引当資産のうち、寄付者の意思又は学校法人独自で設定した奨学基金が対象となります。

基本金とは、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額」をいいます（学校法人会計基準第 29 条）。

その基本金は、第 1 号基本金から第 4 号基本金まであり、第 3 号基本金は、（奨学基金、研究基金、国際交流）「基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額」に相当する金額を組み入れるものとされています（同基準第 30 条第 1 項第 3 号）。

第 3 号基本金の対象となる資産には、元本を継続的に保持運用することにより生じる果実を教育研究活動に使用するために、寄付者の意思又は学校法人独自で設定した奨学基金、研究基金、海外交流基金等が該当し、これらが第 3 号基本金引当資産となります（第 3 号基本金引当資産は、通常「特定資産」と表示されます）。

当該奨学金等制度が給費制度であれば「平成 22 年度支給実績」の「給費」欄の「人数」及び「年間給費額」に、貸与制度であれば「貸与」欄の「人数」及び「年間貸与額」に、**減免制度であれば「減免」欄の「人数」及び「年間減免額」に平成 22 年度実績を入力してください。**

- 1 制度は存在するが、平成 22 年度に支給実績がない場合は「学内奨学金制度」の各欄に入力の上、当該奨学金等制度が給費制度であれば「給費」、貸与制度であれば「貸与」、減免制度であれば「減免」の各欄に「0」と入力してください。
- 2 「平成 22 年度支給実績」の「年間給費額」、「年間貸与額」、「年間減免額」の金額は、平成 22 年度（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月）に支払った「人数」全員の**実支給総額**（平成 22 年度決算額、単位：千円）を入力してください（予算額ではありません）。

2. 「学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）- 平成 22 年度実績 -」について

本調査では、受入れ留学生に対する**給費奨学金及び授業料等減免**を調査対象とし、**貸与奨学金については調査の対象外とします。**

(1) 「名称」

当該奨学金等制度の名称（正式名称がない場合には、学内で受入れ留学生に周知している名称）を入力してください。

「名称」欄には、当該奨学金等制度において学部学生、大学院学生の両方が支給対象になる場合は、同一の名称を支給対象ごとに分けて入力してください。

【記入例】

学内給費奨学金等制度(受入れ留学生) - 平成 22 年度実績 -							大学名		
							(金額単位: 千円)		
1	学内奨学金等制度					平成 22 年度支給実績			
	名称	区分	継続状況	支給対象	分類(1)	基金の有無	支給期間	給費	減免
								人数	年間給費額
1	国際交流奨学金	給費	継続	学部学生	I		2年間	2	1,200千円
2	国際交流奨学金	給費	継続	大学院学生	I		2年間	2	1,200千円
3	大学私費留学生奨学金	減免	新設	学部学生	I	x	1年間		60 12,000千円
4	大学私費留学生奨学金	減免	新設	大学院学生	I	x	1年間		12 1,800千円
5									

(2) 「区分」

当該奨学金等制度について「給費」「減免」いずれかを、プルダウンメニューより選択してください。

(3) 「継続状況」

当該奨学金等制度について「継続」「新設」いずれかをプルダウンメニューより選択してください。

(4) 「支給対象」

当該奨学金等制度の支給対象が学部学生の場合は「学部学生」、大学院学生の場合は「大学院学生」をプルダウンメニューより選択してください。

(5) 「分類(1)」

分類 I をプルダウンメニューより選択してください。

平成 23 年度調査から制度分類表を一部変更しました。調査票には平成 22 年度のデータ（平成 21 年度実績）が入力されていますが、「分類」欄のデータは、制度分類表の変更を反映して、当連盟で修正しています（分類 J I、K I、L I に修正済み）。

[学内奨学金等制度分類表（受入れ留学生）]（拡大版は、12 頁の【別表 2】を参照ください。）

分類	定義	補足
1 I に結合	受入れ留学生に関する奨学金等(受入れ留学生授業料減免等を含む)+授業料減免学校法人奨助の対象となる私費外国人及び国費外国人(留学期間延長等)に対する奨学金	私学助成の対象となる奨学金や学費減免等
2 II に結合	受入れ留学生に関する奨学金(授業料減免以外のもの)	留学生として受入れられることを要件とする奨学金
3 III に結合	その他の奨学金	上記の各項目に該当しない奨学金

[注]
1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。
(例) 留年した学生に対して一律支給するもの、当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
3. 賞状や記念品などにより、明確な金額が確定しないものは除外する。商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱う。

(6) 「基金の有無」

当該奨学金等の原資の全部あるいは一部が、奨学基金（第 3 号基本引当資産）の果実である場合は「○」、そうでない場合には「×」をプルダウンメニューより選択してください。

(7) 「支給期間」

当該奨学金等制度によって給費される期間（減免の場合は減免期間）を入力してください。たとえば、「1 年間」「最短修業年限」「2 年間または 3 年間」などを入力してください。各種奨励賞のような性格で奨励金として一時金を支給する制度等については、「1 回」と入力してください。

(8) 「平成 22 年度支給実績」

当該奨学金等制度が給費制度であれば「平成 22 年度支給実績」の「給費」欄の「人数」及び「年間給費額」に、**減免制度であれば「減免」欄の「人数」及び「年間減免額」に平成 22 年度実績を入力してください。**

- 1 制度は存在するが、平成 22 年度に支給実績がない場合は「学内奨学金等制度」の各欄に入力の上、当該奨学金等制度が給費制度であれば「給費」、減免制度であれば「減免」の各欄に「0」と入力してください。
- 2 「平成 22 年度支給実績」の「年間給費額」、「年間減免額」の金額は、平成 22 年度（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月）に支払った「人数」全員の**実支給総額**（平成 22 年度決算額、単位：千円）を入力してください（予算額ではありません）。

日本学生支援機構奨学金に関する調査

この調査は、貴大学における平成 22 年度日本学生支援機構奨学金新規採用実績及び日本学生支援機構奨学生総件数（新規及び継続合計）について調査するものです。

1. 「平成 22 年度新規採用実績」について

[学部]

- (1) 第一種「定期（予約採用）」、第二種「定期（予約採用）」
新規採用件数を外数で入力してください。
- (2) 第一種「定期（在学採用）」、第二種「定期（在学採用）」
新規採用件数を入力してください。なお、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (3) 第一種「定期外（緊急採用）」、第二種「定期外（応急採用）」
新規採用件数を入力してください。
- (4) 「（入学時特別増額）」
第一種、第二種の新規採用件数のうち、入学時特別増額貸与奨学金制度の増額採用となった件数を合算して入力してください。
- (5) 「小計」「小計」「総件数（+）」
入力の必要はありません。

[大学院]

- (1) 第一種「定期」、第二種「定期」
「定期（予約採用）」新規採用件数と「定期（在学採用）」新規採用件数を合算して課程別に入力してください。なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」欄に入力してください。また、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (2) 第一種「定期外（緊急採用）」、第二種「定期外（応急採用）」
新規採用件数を課程別に入力してください。
- (3) 「（入学時特別増額）」
第一種、第二種の新規採用件数のうち、入学時特別増額貸与奨学金制度の増額採用となった件数を課程別に合算して、入力してください。
- (4) 「小計」「小計」「総件数（+）」「合計」
入力の必要はありません。

2. 「平成 22 年度『第二種奨学金（短期留学）』新規採用実績」について

- (1) 「計」
平成 22 年度の「第二種奨学金（短期留学）」の新規採用総件数を入力してください。

国内の大学等在学中に、外国の短期大学・大学・大学院に留学をするために奨学金を希望する人を対象とした「第二種奨学金（短期留学）」です。

国内の大学・高校を卒業後、諸外国の大学・大学院へ学位取得を目的とする留学のための奨学金を希望する人を対象とした「第二種奨学金（海外）」ではありません。

3. 「奨学生総件数（新規及び継続合計）（平成 23 年 3 月 1 日現在）」について

- (1) 「学部」の「総件数」
第一種、第二種ともに、平成 23 年 3 月 1 日現在在学の奨学生総件数を入力してください。なお、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (2) 「大学院（課程別総件数）」
第一種、第二種ともに、平成 23 年 3 月 1 日現在在学の奨学生総件数を課程別に入力してください。なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」欄に入力してください。また、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
- (3) 「計」及び「合計」
入力の必要はありません。

学内奨学金等制度分類表(学部学生・大学院学生)		【別表1】		
区分	分類	定義	補足	
奨 学 型	A	経済支援のための奨学金等(もっぱら学費に充てられることを前提にしたものであるが、教育ローンにかかる利子を補助するものや入学時貸与奨学金、家賃補助等を含む)	経済的理由により修学困難な学生を対象とする奨学金	奨学生の選考にあたり、経済的要因を学業成績に優先して選考する奨学金
	B	家計急変や災害援助等のための奨学金等	家計支持者の失職・死亡等による家計急変や、火災・風水害・地震などの自然災害により修学困難になった学生を対象とする奨学金	家計急変や災害等を主たる事由として奨学生を選考する奨学金
	C 削除	一時(短期)貸付金等の形式による奨学金	緊急借費、急病、けが、事故等で緊急にお金が必要となった学生を対象とする短期的な貸付による奨学金	無担保・無利子で緊急に貸し出すもので、1年以内の短期間に返還を求める奨学金
育 英 型	D C	学業成績優秀者を対象とした奨学金等	学業成績が特に優れた学生を対象とする奨学金	奨学生の選考にあたり、学業成績を経済的要因に優先して選考する奨学金
	G D	入試成績の優秀者を対象とした奨学金等	各種入学試験の合格者の中で、特に優れた成績を修めた学生を対象とする奨学金	奨学生の選考にあたり、入学試験成績を他の要件に優先して選考する奨学金
	E	特定の試験・研修の受験・受講者を対象とする奨学金や、学術裏書・教育研究奨励を目的とする奨学金等	大学が指定・認定する国家試験・研修等への受験者・受講者、当該試験の合格者、または大学内外において研究成果を認められた者に対し、その活動を支援するための奨学金	特定試験の受験を条件とする奨学金、または学業面で特に優れた成果をあげ学内外で表彰等を受けたことを選考の要件とする奨学金
	F	スポーツ・文化・ボランティア活動の優秀者を対象とした奨学金等	大学内外において、スポーツ・文化・ボランティア活動等の分野で顕著な成果をあげ、または貢献した学生を対象とする奨学金	スポーツ、文化、ボランティア活動等において顕著な成果をあげ、または貢献したことを、選考条件とする奨学金
	H G	派遣留学生に関する奨学金等	海外の大学に交換留学生等として派遣される学生を対象とする奨学金(当該留学において取得した単位が認定されるものに限る)	留学生として派遣されることを要件とする奨学金
そ の 他	J H	その他の奨学金等	上記区分の「奨学型」と「育英型」のどちらにも上記の各項目に該当しない奨学金	1)一つの制度に奨学と育英両方の基準があり、その基準別に対象学生を選出し、奨学金を支給する場合は、同一の名称で奨学型の分類と育英型の分類とに分けて回答してください。 2)1人の学生に支給する奨学金で、奨学型と育英型両方の要因が含まれる場合は、支給事由の強い方の区分からA～Gいずれかの分類を選択してください。

[注]
 1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
 2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。
 (例: 留年した学生に対して一律支給等するもの、当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
 3. 奨学金や減免制度といった名称、支給業務の取扱部署、支給根拠規程等にかかわらず、表彰制度等による報奨金並びに商品券や図書券のように給費する金額が明確なものは奨学金として取り扱う(賞状や記念品等のように、明確な金額が確定しないものは除く)。

学内奨学金等制度分類表(受入れ留学生)		【別表2】	
分類		定義	補足
J I	受入れ留学生に関する奨学金等受入れ留学生授業料減免	受入れ留学生を対象とする奨学金等(入学金免除や奨励金、家賃補助、授業料減免等を含む)・授業料減免学校法人援助の対象となる私費外国人及び国費外国人留学生(大学推薦等)等を対象とする奨学金	私学助成の対象となる奨学金や学費減免
K Iに統合	受入れ留学生に関する奨学金	受入れ留学生を対象とする奨学金(I)の授業料減免以外のもの	留学生として受入れることを要件とする奨学金
L Iに統合	その他の奨学金	上記の各項目に該当しない奨学金	

[注]
 1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
 2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外する。
 (例: 留年した学生に対して一律支給等するもの、当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
 3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が確定しないものは除外する、商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱う。

社団法人 日本私立大学連盟

平成23年度奨学金等調査(平成22年度実績)調査項目一覧

平成23年度奨学金等調査は「データ設問」と「テーマ設問」についてご回答いただきます。以下に
 列挙する調査項目は、ご回答に際して内容を事前にご確認いただくためにお示しするものです。

データ設問：学内奨学金等制度に関する調査、日本学生支援機構奨学金に関する調査

- 平成23年度奨学金等調査 事務連絡者名簿
- 学内奨学金等制度(学部学生)
- 学内奨学金等制度(大学院学生)
- 学内給費奨学金等制度(受入れ留学生)
- 日本学生支援機構奨学金に関する調査

テーマ設問：平成22年度以降の外国人留学生への授業料等減免制度の現状

平成21年度に授業料減免学校法人援助(外国人留学生修学援助費補助金)の対象となる外国人留
 生に対する授業料等減免制度がなかった大学は、回答不要です。

【「授業料減免学校法人援助」廃止に伴う平成22年度以降の外国人留学生への授業料等減免について】

Q1.平成21年度に授業料減免学校法人援助(外国人留学生修学援助費補助金)の対象となっ
 いた外国人留学生に対する授業料等減免制度に関する貴大学の対応についてお聞きます。

SQ1.平成22年度の対応についてお聞きます【選択】

- ・平成22年度に制度を廃止した SQ1-1へ進んでください
- ・平成22年度も制度を継続した SQ1-2へ進んでください

SQ1-1.外国人留学生への授業料等減免制度を廃止した理由は何ですか？

【選択(複数可)】

- ・奨学金制度に変更した
- ・財源確保が困難
- ・その他()

調査は終了です。

SQ1-2.制度の内容はどうされましたか？【選択(複数可)】

- ・平成21年度の内容を継続
- ・減免率を変更した
- ・採用基準や採用人数を変更した
- ・その他()

SQ2へ進んでください。

SQ2.平成23年度の対応についてお聞きます【選択】

- ・平成23年度に制度を廃止した SQ2-1へ進んでください
- ・平成23年度も制度を継続した SQ2-2へ進んでください

SQ2-1.外国人留学生への授業料等減免制度を廃止した理由は何ですか？

【選択(複数可)】

- ・奨学金制度に変更した
- ・財源確保が困難
- ・その他()

調査は終了です。

SQ2-2.制度の内容はどうされましたか？【選択(複数可)】

- ・平成22年度の内容を継続
- ・減免率を変更した
- ・採用基準や採用人数を変更した
- ・その他()

Q1SQ2で、「平成23年度も制度を継続した」とお答えの大学は、以下のQ2以降の平成23
 年度の制度内容についてご回答ください。

【制度の対象となる外国人留学生について】

Q2.貴大学で受け入れている外国人留学生のうち、どの程度の割合が授業料等減免制度の対象とな
 っていますか？おおよそのパーセンテージでお答えください【選択】

- 10%未満 10%台 20%台 30%台 40%台
- 50%台 60%台 70%台 80%台 90%台 100%

【制度内容について】

Q3.外国人留学生の授業料等減免制度対象者の選考基準はありますか？【選択】

- ・ある Q3SQ1へ進んでください
- ・ない Q4へ進んでください

Q3SQ1.どのような基準ですか？あてはまるものをすべて選んで、具体的な選考方法をご記
 入ください【選択】

- ・成績に関する基準がある(選考方法:)
- ・人物に関する基準がある(選考方法:)
- ・収入に関する基準がある(選考方法:)
- ・その他()(選考方法:)

Q4.貴大学の外国人留学生に対する授業料減免制度では納入授業料等全体が減免の対象となってい
 いますか？【選択】

- ・納入授業料等全体が減免の対象となっている Q4SQ1へ進んでください
- ・納入授業料等全体が減免の対象となっていない Q5へ進んでください

Q4SQ1.おおよその減免率を選んでください【選択】

- 10%未満 10%台 20%台 30%台 40%台
- 50%台 60%台 70%台 80%台 90%台 100%

Q5.下表1~3の納入授業料等の費目ごとに、おおよその減免率を選んでください【選択】

	0%	10%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
		未 満	台	台	台	台	台	台	台	台	台	
1.入学金												
2.授業料												
3.その他 ()												

【平成24年度以降の制度検討状況について】

Q6.外国人留学生への授業料等減免制度について、平成24年度の対応はどのようにお考えですか

【選択】

- ・平成23年度と同じ内容で継続することを決定済
- ・平成23年度と同じ内容で継続することを検討中
- ・制度内容を変更することを決定済 Q7へ進んでください
- ・制度内容を変更する方向で検討中
- ・制度の廃止を決定済
- ・制度を廃止する方向で検討中

Q7 . 授業料等減免制度の内容について、下表1～3ごとに、変更に向けた検討状況をお答えください【選択】

	変更を決定済	変更を検討中	変更は行わない	今のところ未定
1. 減免率				
2. 選考基準や採用人数				
3. その他 ()				

以 上

学生委員会

担当理事 吉岡 知哉

委員長	國廣敏文	立命館	常務理事(学生担当)、産業社会学部教授
副委員長	中村信博	福岡大学	就職・進路支援センター長、商学部教授
委員	鷲谷徹	中央大学	学生部長、経済学部教授
	真銅正宏	同志社	学生支援センター所長、文学部教授
	谷洋之	上智学院	学生センター長、外国語学部教授
	笹倉淳史	関西大学	学生センター所長、商学部教授
	吉原健二	関西大学	キャリアセンター事務局長
	中西康裕	関西学院	学生部長、文学部教授
	伊東裕司	慶應義塾	学生総合センター長、文学部教授
	杉林宏茂	明治大学	就職キャリア支援部就職キャリア支援事務長
	佐藤勤	南山学園	法学部教授
	鈴木秀雄	日本大学	学生支援部長
	舛谷鋭	立教学院	学生部長、観光学部教授
	松尾哲矢	立教学院	コミュニティ福祉学部長
	笹倉和幸	早稲田大学	学生部長・キャリアセンター長、政治経済学術院教授

(平成24年3月現在)

学生委員会奨学金等分科会

担当理事 吉岡 知哉

分科会長	笹倉淳史	関西大学	学生センター所長、商学部教授
委員	三石哲生	中央大学	学生部事務室厚生課長
	谷洋之	上智大学	学生センター長、外国語学部教授
	小塚喜之	慶應義塾	学生部福利厚生支援課長
	中田晃	名古屋学院大学	学生課長
	鈴木勉	早稲田大学	学生部奨学課長

(平成24年3月現在)

社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覽

(大学名ABC順)

(123大学 2012年3月現在)

愛知大学	関西大学	武蔵野大学	芝浦工業大学
亜細亜大学	関西医科大学	武蔵野美術大学	白百合女子大学
青山学院大学	関西学院大学	名古屋学院大学	園田学園女子大学
跡見学園女子大学	関東学園大学	南山大学	創価大学
梅花女子大学	関東学院大学	日本大学	大正大学
文教大学	活水女子大学	日本女子大学	拓殖大学
中京大学	慶應義塾大学	ノートルダム清心女子大学	天理大学
中央大学	恵泉女学園大学	大阪学院大学	東邦大学
獨協大学	敬和学園大学	大阪医科大学	東北学院大学
獨協医科大学	神戸女学院大学	大阪女学院大学	東北公益文科大学
同志社大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	東海大学
同志社女子大学	國學院大学	大谷大学	常盤大学
フェリス女学院大学	国際大学	立教大学	東京医科大学
福岡大学	国際武道大学	立正大学	東京医療保健大学
福岡女学院大学	国際基督教大学	立命館大学	東京情報大学
福岡女学院看護大学	駒澤大学	立命館アジア太平洋大学	東京女子大学
学習院大学	皇學館大学	龍谷大学	東京女子医科大学
学習院女子大学	甲南大学	流通科学大学	東京経済大学
白鷗大学	久留米大学	流通経済大学	東京農業大学
姫路獨協大学	共立女子大学	聖母大学	東京歯科大学
広島女学院大学	京都産業大学	西武文理大学	苫小牧駒澤大学
広島修道大学	京都精華大学	聖学院大学	東洋大学
法政大学	京都橘大学	成城大学	東洋英和女学院大学
兵庫医科大学	松山大学	聖カトリック大学	東洋学園大学
兵庫医療大学	松山東雲女子大学	成蹊大学	豊田工業大学
石巻専修大学	明治大学	西南学院大学	津田塾大学
実践女子大学	明治学院大学	清泉女子大学	早稲田大学
上智大学	三重中京大学	聖心女子大学	山梨英和大学
城西大学	宮城学院女子大学	聖トマス大学	四日市大学
城西国際大学	桃山学院大学	仙台白百合女子大学	四日市看護医療大学
順天堂大学	武蔵大学	専修大学	

平成23年度奨学金等分科会報告書

平成24年3月 発行

編集者 奨学金等分科会
分科会長 笹倉淳史

発行者 学生委員会
担当理事 吉岡知哉
委員長 國廣敏文

発行所 社団法人日本私立大学連盟
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
電話 03-3262-3603 FAX 03-3262-3604
ホームページ：<http://www.shidai ren.or.jp/>

印刷所 株式会社ソーラン社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-8 共同ビル
電話 03-3666-7841 FAX 03-3666-1800

© The Japan Association of Private Universities and Colleges, 2012

*無断転載を禁じます。



日本私立大学連盟